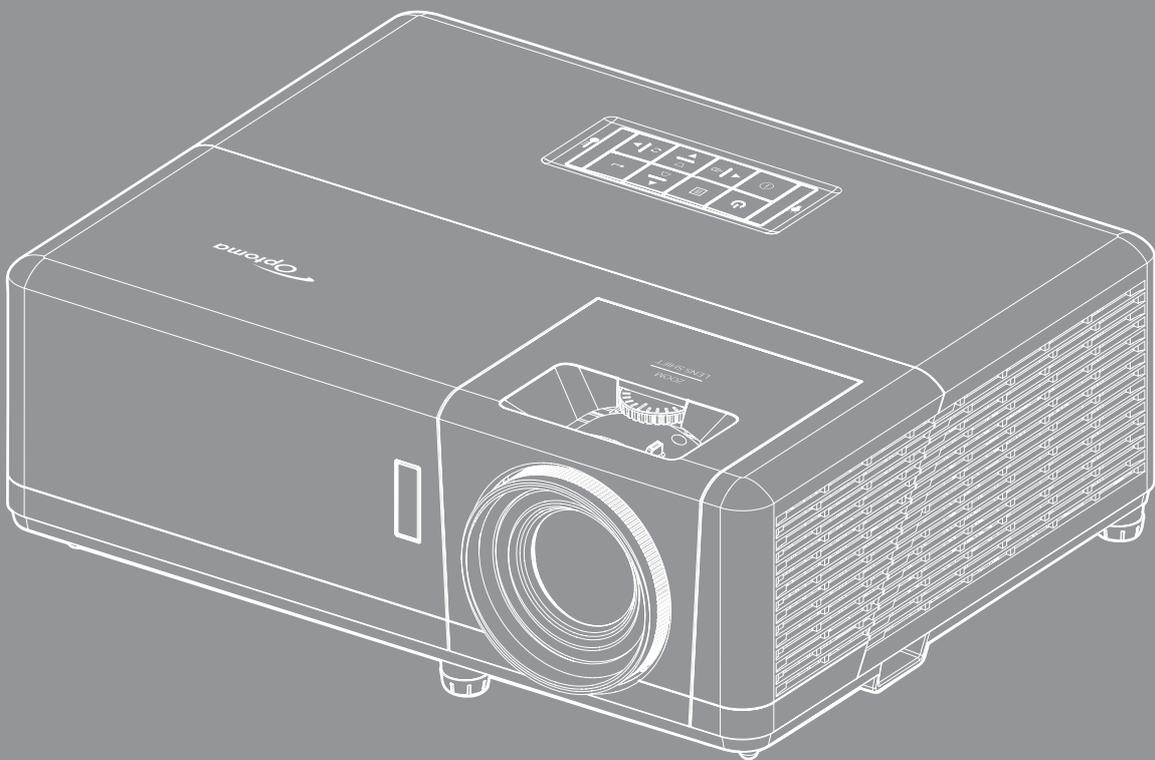




# DLP® プロジェクター



ユーザーマニュアル



# 目次

<b>安全</b> .....	<b>4</b>
安全に関するご注意.....	4
レーザー放射安全情報.....	5
レンズの清掃.....	6
3D 安全情報.....	6
著作権.....	7
免責条項.....	7
商標認識.....	7
FCC.....	7
EU 諸国への適合宣言.....	8
WEEE.....	8
<b>はじめに</b> .....	<b>9</b>
パッケージの内容.....	9
標準アクセサリ.....	9
製品の各部名称.....	10
接続.....	11
キーパッド.....	12
リモコン.....	13
<b>設定と設置</b> .....	<b>14</b>
プロジェクターを設置する.....	14
ソースをプロジェクターに接続する.....	16
投射画像の調整.....	17
リモコンの準備.....	18
初期セットアップ.....	20
<b>プロジェクターを使用する</b> .....	<b>22</b>
プロジェクターの電源を入れる/切る.....	22
入力ソースを選択する.....	23
ホーム画面の概要.....	24
システム日時.....	24
プロジェクター設定メニュー (OSD).....	25
OSD メニューツリー.....	26
ディスプレイメニュー.....	33
映像設定メニュー.....	33
エンハンストゲーミングメニュー.....	36
3D メニュー.....	37
アスペクト比メニュー.....	38
エッジマスクメニュー.....	39
デジタルズームメニュー.....	39
イメージシフトメニュー.....	39
ジオメトリ補正メニュー.....	39
オーディオメニュー.....	40

ミュートメニュー.....	40
音量メニュー.....	40
音声入力メニュー.....	40
設定メニュー.....	41
投影メニュー.....	41
電源設定メニュー.....	41
セキュリティメニュー.....	42
HDMI リンク設定メニュー.....	42
テストパターンメニュー.....	43
プロジェクターIDメニュー.....	43
12Vトリガメニュー.....	43
オプションメニュー.....	43
OSD メニューのリセット.....	44
情報メニュー.....	45
システム設定メニュー.....	46
入力ソースを選択する.....	60
アプリの選択.....	61
サポートするマルチメディア形式.....	65
ステータスバーの表示.....	66

## **追加情報 ..... 67**

対応解像度.....	67
イメージサイズと投射距離.....	73
プロジェクターの寸法と天井取り付け.....	74
IR リモートコード.....	75
故障かなと思ったら.....	76
警告インジケータ.....	78
仕様.....	79
Optoma 社グローバルオフィス.....	80

# 安全

	正三角形内部の矢印の付いた稲妻は、製品の筐体内部に感電の恐れのある、絶縁されていない「危険な電圧」が相当な規模で存在していることをユーザーに警告するものです。
	正三角形内部の感嘆符は、機器に付属するマニュアルに、重要な操作およびメンテナンス（修理点検など）に関する指示があることをユーザーに警告するものです。

この取扱説明書で推奨されたすべての警告、安全上のご注意およびメンテナンスの指示に従ってください。

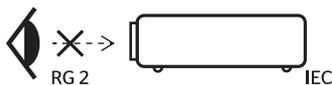
## 安全に関するご注意

- 通気孔を塞がないでください。プロジェクターを過熱から守り、正常な動作を保つため、通気孔を塞がないような場所に設置してください。飲み物等が置かれたコーヒータブルや、ソファ、ベッドにプロジェクターを置かないでください。また、本棚、戸棚など風通しの悪い狭い場所に置かないでください。
- 火事や感電のリスクがありますので、プロジェクターを雨や湿気にさらさないでください。ラジエータ、ヒーター、ストーブまたは熱を発生するその他の機器（アンプを含む）など、熱源のそばに設置しないでください。
- プロジェクター内部に、異物や液体が入らないよう、ご注意ください。危険な電圧部分に触れて、部品がショートしたり、火災、感電を引き起こす原因になります。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
    - (i) 室温が 0°C ~ 40°C の範囲に保たれていることを確認します
    - (ii) 相対湿度は 10% ~ 85% の範囲です
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場が集まる装置の傍に置く。
  - 直射日光の当たる場所。
- 物理的に破損している、または乱用された痕跡のある装置は使用しないでください。物理的なダメージや酷使とは以下の通りです（ただしこれらに限定されません）：
  - 装置を落とした。
  - 電源装置のコードまたはプラグが壊れている。
  - プロジェクターに液体をこぼした。
  - プロジェクターを、雨や湿気にさらしてしまった。
  - プロジェクター内部に何らかの異物を落とした。または、内部で何かが緩んでいる音がする。
- 不安定な場所にプロジェクターを置かないでください。プロジェクターが落下して壊れたり、人身事故を起こす可能性があります。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズから発せられる光を遮断しないでください。光が物体を暖め、溶解、火傷、火災などを引き起こす恐れがあります。
- プロジェクターのカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電の原因になります。
- お客様自身でこのプロジェクターを修理しないでください。カバーを開けたり取り外したりすると、危険な電圧やその他の危険にさらされます。本機を修理に出す前に、Optoma にお電話ください。
- 安全に関係するマーキングについては、プロジェクターの筐体をご覧ください。
- 本プロジェクターの修理は、認定されたサービススタッフのみに依頼してください。
- メーカー指定の付属品/アクセサリのみをご使用ください。
- プロジェクターの使用時、プロジェクターのレンズを直視しないでください。強力な光線により、視力障害を引き起こす恐れがあります。

- 本プロジェクターは、光源の寿命を自動的に検知します。
- プロジェクターの電源を切るときは、冷却サイクルが完了したことを確認してから、電源コードを抜いてください。プロジェクターは、少なくとも 90 秒間、放熱させてください。
- 本体のスイッチをオフにして、電源プラグをコンセントから抜いてから、本機をクリーニングしてください。
- ディスプレイの筐体を洗淨する際は、中性洗剤と柔らかい乾いた布をご使用ください。本体を研磨剤、ワックス、溶剤で洗淨しないでください。
- 本機を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 振動や衝撃を受けるような場所にプロジェクターを設置しないでください。
- レンズを素手で触らないでください。
- 保管前にリモコンから電池を取り外してください。長期間、電池がリモコンに入っていると、液漏れが発生する恐れがあります。
- 石油または煙草からの煙が存在する可能性がある場所でプロジェクターを使用または保管しないでください。プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- プロジェクターは正しい向きで設置してください。標準的な設置方法でなければ、プロジェクターの性能が低下する可能性があります。
- 電源ストリップ、および/または、サージプロテクタを使用してください。停電または電圧低下により装置が破損する恐れがあります。

## レーザー放射安全情報

- 本プロジェクターは、IEC 60825-1:2014 のクラス 1 レーザー製品 - リスクグループ 2 として分類され、IEC 62471-5:Ed. 1.0 で定義されているリスクグループ 2、LIP (レーザー照明プロジェクター) として 21 CFR 1040.10 および 1040.11 にも準拠しています。詳細については、2019 年 5 月 8 日付のレーザー通知第 57 号を参照してください。



- あらゆる明るい光源と同様に、光線を直接目に入れないでください (RG2 IEC 62471-5:2015)。
- このプロジェクターは、IEC/EN 60825-1:2014 およびリスクグループ 2 のクラス 1 レーザー製品であり、IEC 62471-5:2015 の要件を備えています。
- お子様を監視するための追加の指示、凝視しないこと、光学補助具を使用しないこと。
- お子様を監視し、プロジェクターから離れた場所でプロジェクターの光線を凝視しないように注意してください。
- 投影レンズの前でリモコンを使用してプロジェクターを起動する場合は注意してください。
- ビーム内で双眼鏡や望遠鏡などの光学器具を使用しないようにユーザーに通知してください。

- プロジェクターの電源を入れるときは、レンズを見れる投影範囲に人がいないことを確認してください。
- プロジェクターの光路に物 (拡大鏡など) を近づけないようにしてください。レンズから投射される光路は広範囲にわたります。したがって、レンズからの光の向きを変えるあらゆる種類の異物が、火災または目の傷害などの予期せぬ結果を引き起こす可能性があります。
- ユーザーガイドに具体的に記載されていない操作または調整は、危険なレーザー放射曝露を引き起こす可能性があります。
- レーザー放射曝露による存在を引き起こす可能性がありますので、プロジェクターを開いたり、分解したりしないでください。
- プロジェクターがオンの間、光線を凝視しないでください。明るい光により、目が恒久的に損傷する可能性があります。

制御、調整、操作手順を遵守しないと、レーザー放射曝露により、損害が発生する可能性があります。

## レンズの清掃

- レンズを清掃する前に、必ず、プロジェクターの電源を切り、電源コードを切断し、完全に冷却させてください。
- 埃を取り除くために、圧縮空気タンクを使用してください。
- レンズ清掃用の特殊布を使用し、レンズを優しく拭いてください。レンズを指で触らないでください。
- レンズの清掃に、アルカリ性/酸性の溶剤またはアルコールなどの揮発性の溶剤を使用しないでください。清掃処理により、レンズが損傷した場合、保証の対象とはなりません。



警告: レンズから埃または汚れを取り除くために、可燃性ガスを含むスプレーを使用しないでください。プロジェクター内部の過度の熱より、火災が発生する可能性があります。



警告: レンズ表面のフィルムが剥がれる可能性がありますので、プロジェクターがウォームアップ中は、レンズを清掃しないでください。



警告: 硬い物でレンズを拭いたり、叩いたりしないでください。

## 3D 安全情報

推奨されるすべての警告と安全上の注意に従った上で、ご自身またはお子様が 3D 機能をご利用ください。

### 警告

幼児及び 10 代の方は、3D 鑑賞に関連する健康問題により影響を受けやすくなっています。よって、これらの画像を見る際は十分にご注意ください。

## 光感受性発作の警告及びその他健康面におけるリスク

- プロジェクターの画像やビデオゲームに含まれる点滅画面やライトに曝されると、一部視聴者はてんかん症状や発作を起こす恐れがあります。そのような症状が発生した場合又はてんかんや発作の家族歴がある場合、3D 機能をご使用いただく前に、医療専門家にご相談ください。
- てんかんや発作の個人歴又は家族歴がない方でも、光感受性てんかん発作を引き起こす診断未確定症状が現れる場合があります。
- 妊婦、高齢者、重症患者、不眠症患者やアルコール依存症の方は、当装置の 3D 機能のご使用はお控えください。
- 以下の症状を経験されたことがある方は、ただちに 3D 画像の鑑賞を中止し、医療専門家にお問い合わせください: (1) 視覚の変化、(2) 軽い頭痛、(3) 眩暈、(4) 眼や筋肉の引き攣りといった無意識の動作、(5) 混乱状態、(6) 吐き気、(7) 意識喪失、(8) 痙攣、(9) 急激な腹痛、及び (又は) (10) 見当識障害。幼児及び 10 代の方は大人よりこれらの症状が出やすいとされています。ご両親はお子様を監督され、これらの症状が出ていないかお尋ねください。
- 3D 投影の鑑賞はまた、吐き気、知覚後遺症、見当識障害、眼精疲労、姿勢の安定性減少をもたらす恐れがあります。ユーザーはこれらの影響の可能性を削減するために、頻繁に休憩を取ることが推奨されます。目に疲労や乾き、又は上記のどれか症状が出現した場合、ただちに当機器のご使用を中止いただき、症状が落ち着いてから最低 30 分はご使用をお控えください。

- 長時間、かなり画面の近くに座って 3D 投影を鑑賞すると、視力にダメージを与える恐れがあります。理想的な鑑賞距離は、画面高さの最低 3 倍の距離となっています。また視聴者の目の位置が画面の高さにあることが推奨されます。
- 3D 眼鏡をかけながらの長時間にわたる 3D 投影の鑑賞は、頭痛や疲労を引き起こす恐れがあります。頭痛、疲労や眩暈を感じた場合、3D 投影の鑑賞を中止し、休憩してください。
- 3D 投影の鑑賞以外の目的での 3D 眼鏡のご使用はお止めください。
- その他目的 (通常の眼鏡、サングラス、保護ゴーグルなど) のための 3D 眼鏡の着用は、肉体的傷害を引き起こしたり、視力の低下をもたらす恐れがあります。
- 3D 投影の鑑賞は、一部視聴者において見当識障害を引き起こす恐れがあります。よって、広い階段の吹き抜け、ケーブル、バルコニーやその他転んだり、衝突したり、倒れたり、壊れたり、落ちたりする可能性がある場所の傍に 3D プロジェクターを設置しないでください。

## 著作権

この出版物は、すべての写真、イラスト、ソフトウェアを含め、著作権に関する国際法の下で保護され、無断複写・転載が禁じられます。このマニュアルもこの中に含まれるいかなる素材も作者の書面による同意なしで複製することはできません。

© 著作権 2022

## 免責条項

本書の情報は予告なしで変更されることがあります。製造者は本書の内容についていかなる表明も保証もせず、特に、商品性または特定目的の適合性について、いかなる暗黙的保証も否定します。製造者は本出版物を改訂し、その内容を折に触れて変更する権利を留保します。ここで、かかる改訂または変更を通知する義務は製造者にはないものとします。

## 商標認識

Kensington は ACCO Brand Corporation の米国登録商標であり、世界中の他国で登録され、あるいは登録申請中になっています。

HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia Interface は米国とその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

DLP®、DLP Link および DLP ロゴは、Texas Instruments の登録商標です。BrilliantColor™ は、Texas Instruments の商標です。

本書に記載されているその他すべての製品名はそれぞれの所有者の財産であり、認知されています。

## FCC

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限は、居住地において有害な干渉からの適切な保護を提供するために設定されています。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかし、干渉が個々の設置において発生しないと保証することはできません。本装置の電源を切ったり入れたりすることにより、本装置がラジオやテレビ受信に有害な干渉をもたらしていることが確認できる場合は、下記の手順で改善を試みてください：

- 受信アンテナの再設定又は移動。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 受信機の接続とは異なる回路のコンセントを本装置へ接続。
- 販売代理店又は資格のある無線/テレビ技術者へのお問い合わせ。

## 注意: シールドケーブル

その他コンピューターデバイスへの全ての接続は、FCC 規則を遵守するために、シールドケーブルを必ず使用して行ってください。

## 注意事項

本装置に対しメーカーが明確に認定していない変更や修正を加えると、連邦通信委員会で許可されているユーザー権限が無効になることがあります。

## 運転状況

本装置は、FCC 規則パート 15 に準拠しています。運転は、以下の 2 つの状況を前提とします:

1. 本装置は、有害な干渉を引き起こしてはならない。
2. 本装置は、不要な作動を引き起こす恐れのある干渉を含む干渉受信を許容する。

注意: カナダにお住まいのユーザーへ

本クラス B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Remarque à l'intention des utilisateurs canadiens

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

## EU 諸国への適合宣言

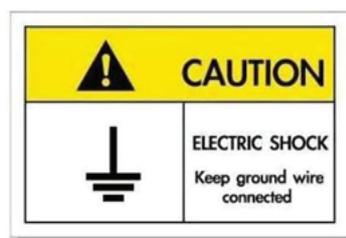
- EMC 指令 2014/30/EU (修正案を含む)
- 低電圧指令 2014/35/EU
- RED 2014/53/EU (製品に RF 機能が搭載されている場合)

## WEEE



廃棄物についての指示

当機器を処分する際、電子装置はゴミ箱に捨てないでください。汚染を最小限に抑え、最大限グローバルな環境を保護するために、リサイクルしてください。



感電を防止するため、装置およびその周辺装置を適切に接地 (アース) してください。

# はじめに

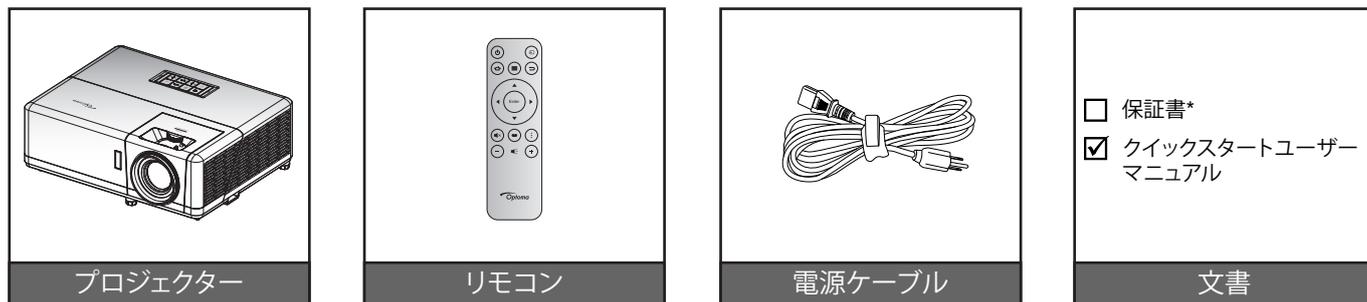
Optoma レーザープロジェクターをお買い上げいただきありがとうございます。機能の完全なリストについては、当社の Web サイトの製品ページにアクセスしてください。ここでは、FAQ の追加情報やドキュメントも掲載されています。

## パッケージの内容

慎重に箱から取り出し、下の標準付属品に記載されている品目が揃っていることを確認します。オプションの付属品については、モデル、仕様、購入地域によっては入っていない場合があります。購入場所で確認してください。地域によっては付属品が異なる場合があります。

保証書は一部の地域でのみ同封されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

## 標準アクセサリ

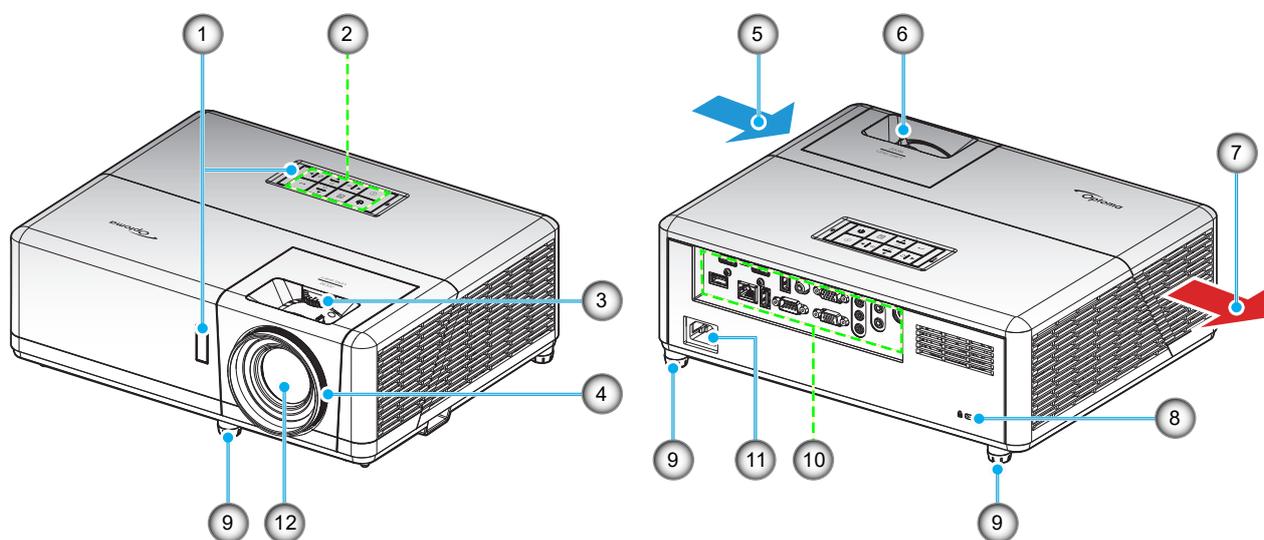


### 注記:

- リモコンは電池と共に出荷されます。
- \* 保証情報については、[www.optoma.com](http://www.optoma.com) にアクセスしてください。
- アクセサリは、モデル、仕様、地域によって異なります。一部のオプションのアクセサリは、選択された地域で購入できる場合があります。付属するアクセサリの詳細については、当社の Web サイトにアクセスしてください。

# はじめに

## 製品の各部名称



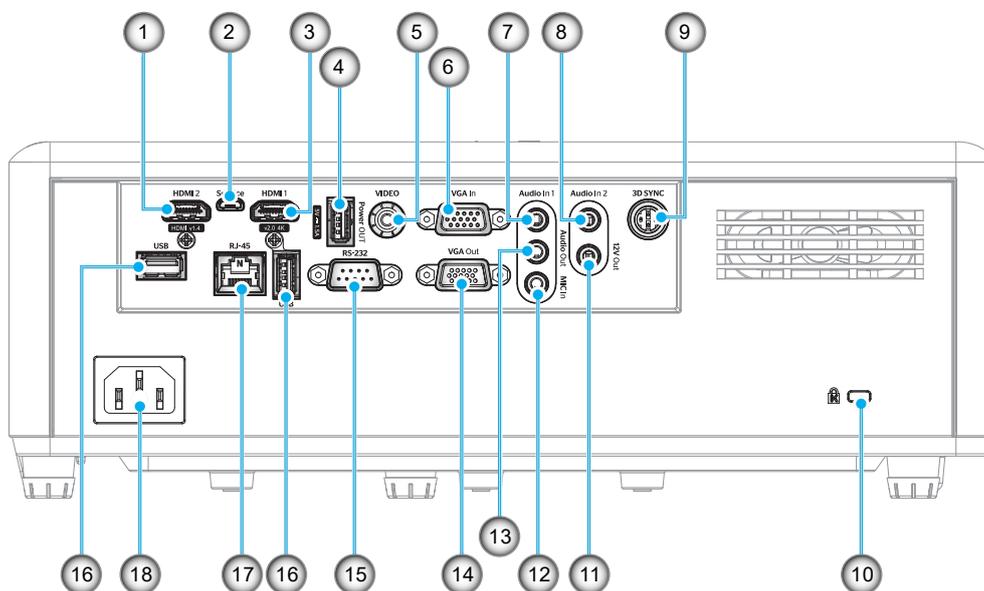
### 注記:

- プロジェクターの吸気口または排気口を塞がないでください。
- プロジェクターを閉じられた空間で操作するときは、吸気口および排気口を少なくとも 30 cm 隙間をあけてください。

番号	項目	番号	項目
1.	赤外線レーザー	7.	換気 (排気口)
2.	キーパッド	8.	Kensington™ ロックポート
3.	レンズシフトダイヤル	9.	チルト調整フット
4.	フォーカスリング	10.	入/出力
5.	換気 (吸気口)	11.	電源ソケット
6.	ズームレバー	12.	レンズ

# はじめに

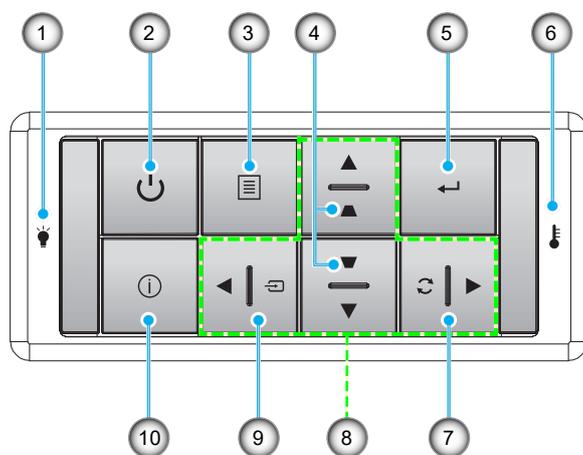
## 接続



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI 2 端子	10.	Kensington™ ロック ポート
2.	Micro USB コネクタ	11.	12V 出力端子
3.	HDMI 1 端子	12.	MIC 入力コネクタ
4.	USB 給電出力 (5V→1.5A) コネクタ	13.	オーディオ出力端子
5.	ビデオコネクタ	14.	VGA 出力コネクタ
6.	VGA 入力コネクタ	15.	RS-232 端子
7.	オーディオ入力 1 コネクタ	16.	USB ポート (Wi-Fi ドングル (5V/0.9A)/メディア プレーヤー)
8.	オーディオ入力 2 コネクタ	17.	RJ-45 端子
9.	3D同期コネクタ	18.	電源ソケット

# はじめに

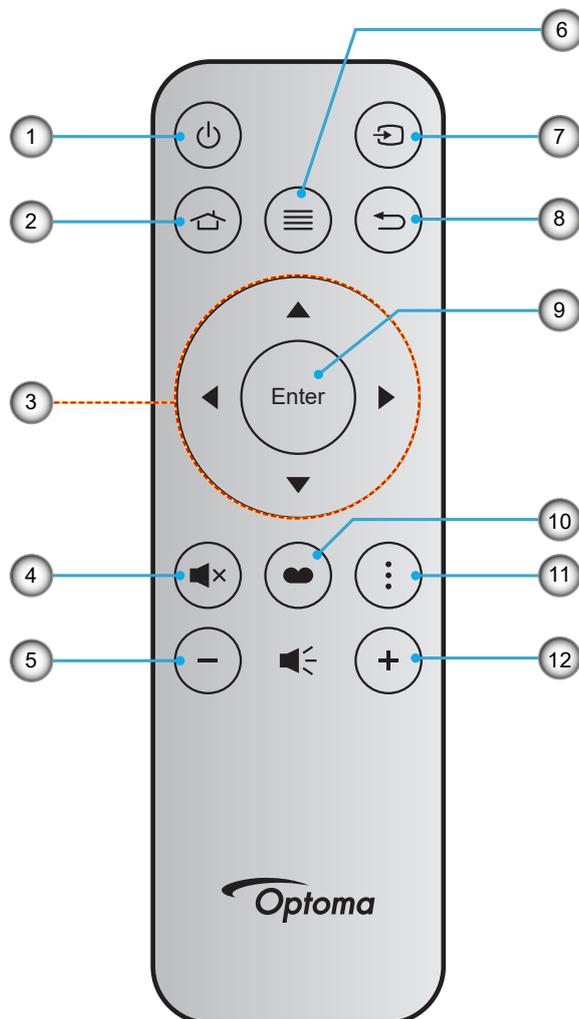
## キーパッド



番号	項目	番号	項目
1.	ランプ LED	6.	温度 LED
2.	電源および消費電力 LED	7.	再同期
3.	メニュー	8.	4 方向選択キー
4.	キーストーン補正	9.	ソース
5.	入力	10.	情報

# はじめに

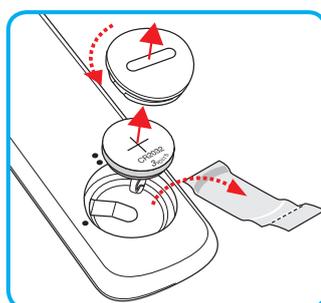
## リモコン



番号	項目	番号	項目
1.	電源オン/オフ	7.	ソース
2.	ホーム	8.	戻る
3.	4方向選択キー	9.	入力
4.	ミュート	10.	ディスプレイモード
5.	音量-	11.	アプリメニュー
6.	メニュー	12.	音量+

### 注記:

- これらの機能をサポートしていないモデルの場合、一部のキーが機能しないことがあります。
- 初めてリモコンを使用する前に、透明の絶縁テープを剥がしてください。電池の取り付けについては、18ページを参照してください。

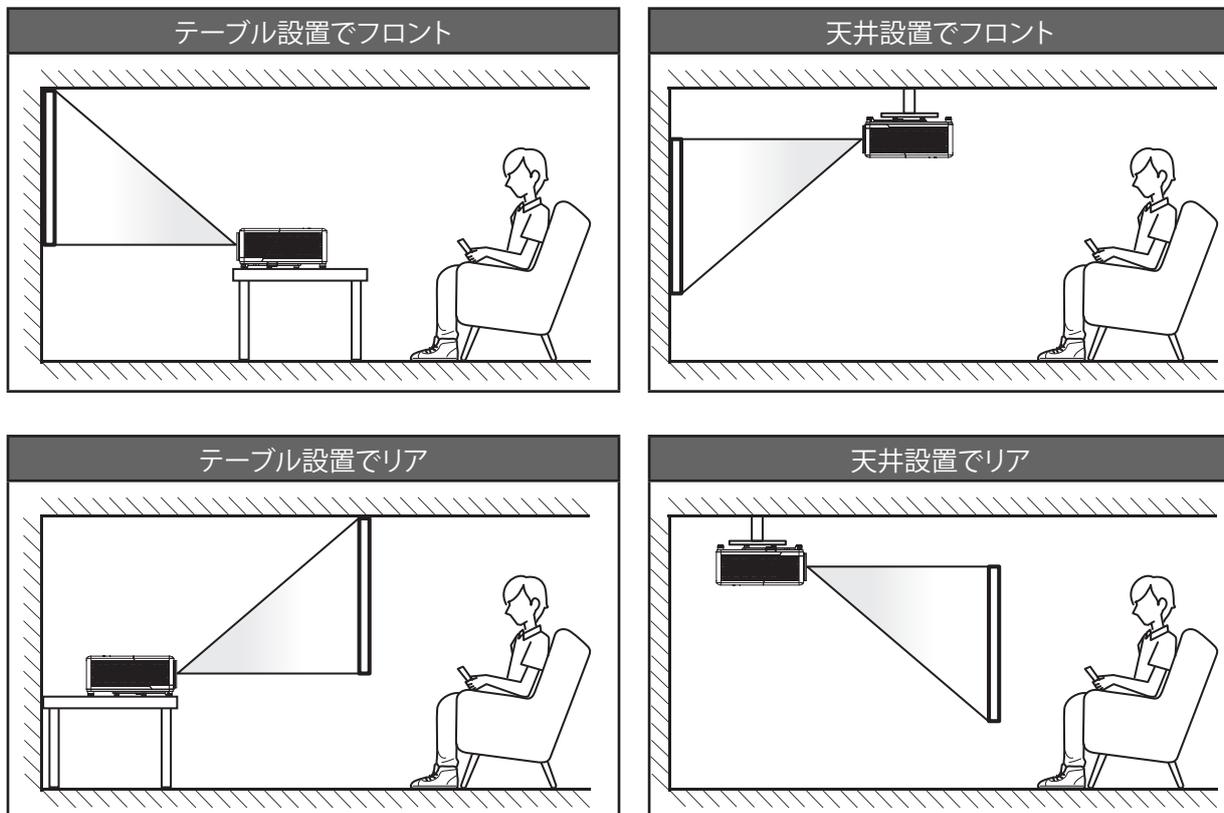


# 設定と設置

## プロジェクターを設置する

このプロジェクターは設計上、4つの設置方法のいずれかを選んで設置できます。

部屋の設計や個人の好みに合わせて設置方法を決めてください。スクリーンの大きさと位置、コンセントの場所、プロジェクターとその他の機材の位置と間の距離を考慮します。



プロジェクターは平らな場所に置き、スクリーンに対して90度/垂直にします。

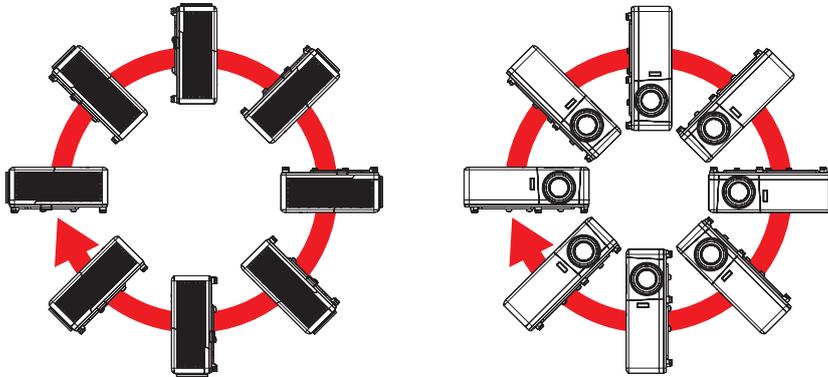
- 特定のスクリーンサイズに対してプロジェクターの位置を決定する方法については、73ページの距離表を参照してください。
- 特定の距離に対してスクリーンサイズを決定する方法については、73ページの距離表を参照してください。

**注記:** プロジェクターとスクリーンの間の距離が離れると、投射される画像がそれだけ大きくなり、垂直オフセットも比例して大きくなります。

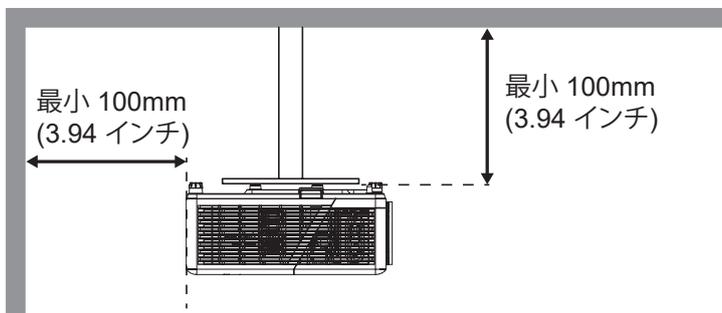
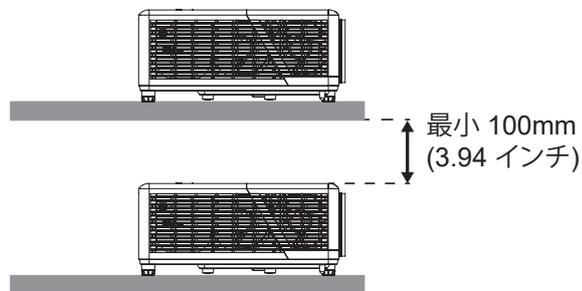
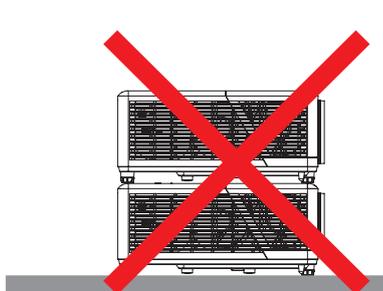
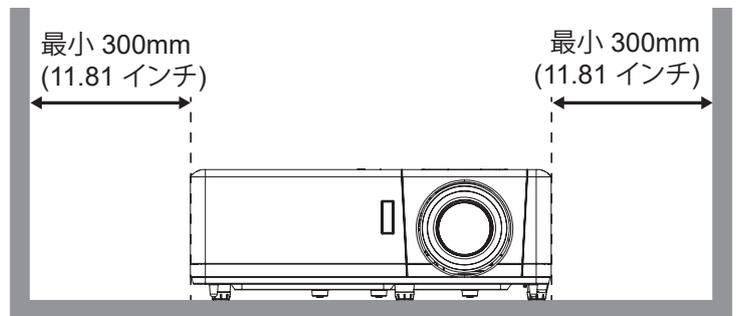
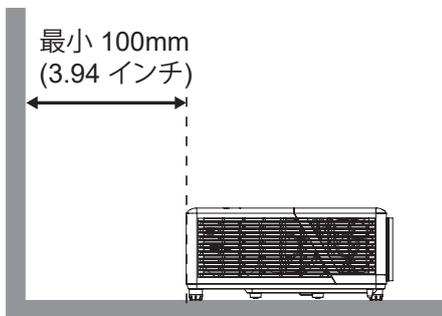
# 設定と設置

## プロジェクターの取り付けに関する注意

- 360°の自由方向操作



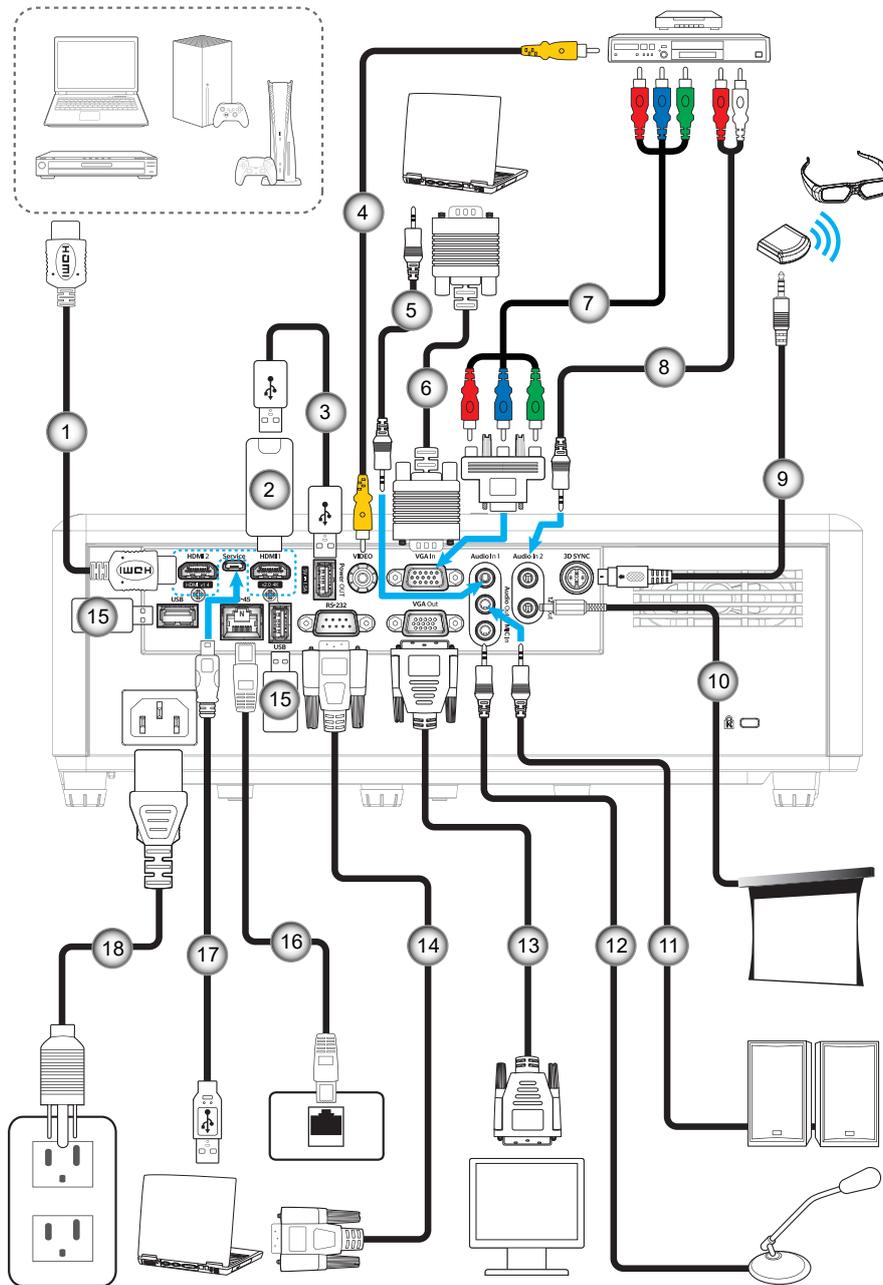
- 排気口の周囲に少なくとも 30 cm のスペースを確保してください。



- 吸気口が排気口からの熱い空気を取り込まないようにしてください。
- 密閉された空間でプロジェクタを操作する場合は、プロジェクタが動作している間は、筐体内の周囲温度が動作温度を超えないようにし、吸気口と排気口に障害物がないようにしてください。
- エンクロージャの温度が許容動作温度範囲であっても、デバイスがシャットダウンする可能性があるため、プロジェクタが排気を取り込まないように、すべてのエンクロージャは認定熱評価に合格する必要があります。

# 設定と設置

## ソースをプロジェクターに接続する



番号	項目	番号	項目
1.	HDMI ケーブル	10.	12V DC ジャック
2.	HDMI ドングル	11.	オーディオ出力ケーブル
3.	USB 電源ケーブル	12.	マイクロホンケーブル
4.	ビデオケーブル	13.	VGA 出力ケーブル
5.	オーディオ入力ケーブル	14.	RS232 ケーブル
6.	VGA 入力ケーブル	15.	USB ディスクドライブ/Wi-Fi ドングル
7.	RCA コンポーネントケーブル	16.	RJ-45 ケーブル
8.	オーディオ入力ケーブル	17.	USB ケーブル
9.	3D エミッターケーブル	18.	電源コード

**注記:** 最良の画質を確保し、接続エラーを防止するために、最大 5 メートルの高速またはプレミアム認定 HDMI ケーブルを使用してください。

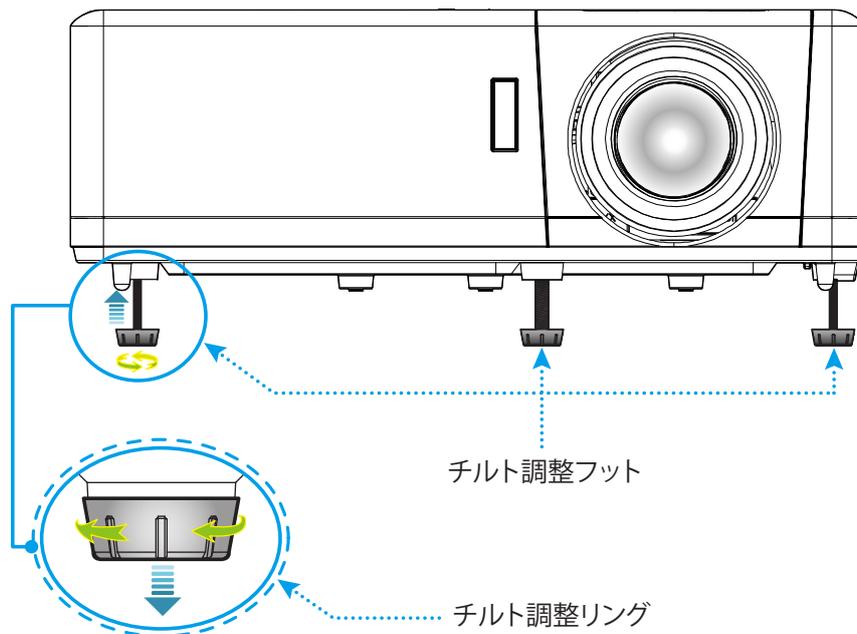
# 設定と設置

## 投射画像の調整

### 画像の高さ

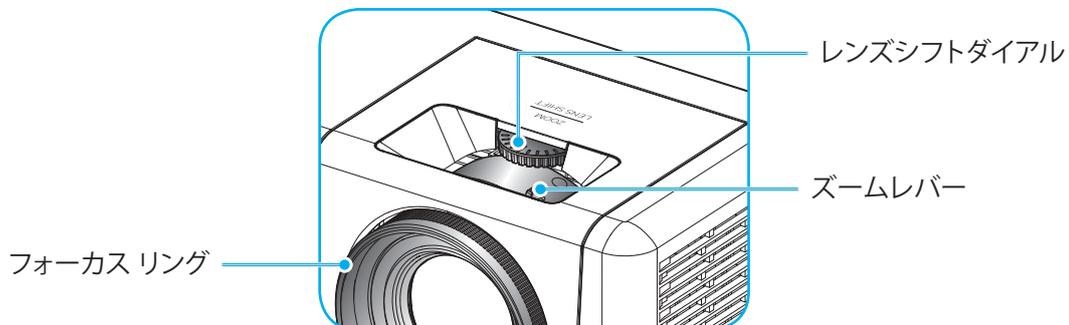
本プロジェクターには、投影映像の高さを調整するためのチルト調整フットがあります。

1. プロジェクターの底面の変更したい調整フットを探します。
2. 調整フットを時計方向/反時計方向に回してプロジェクターを上げ下げします。



### ズーム、レンズシフト、および、フォーカス

- 画像の大きさを調整するには、ズームレバーを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の大きくまたは小さくします。
- 画像の位置を調整するには、レンズシフトダイヤルを時計方向または反時計方向に回し、投射される画像の位置を水平方向に調整します。
- フォーカスを調整するには、画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカスリングを時計方向または反時計方向に回します。



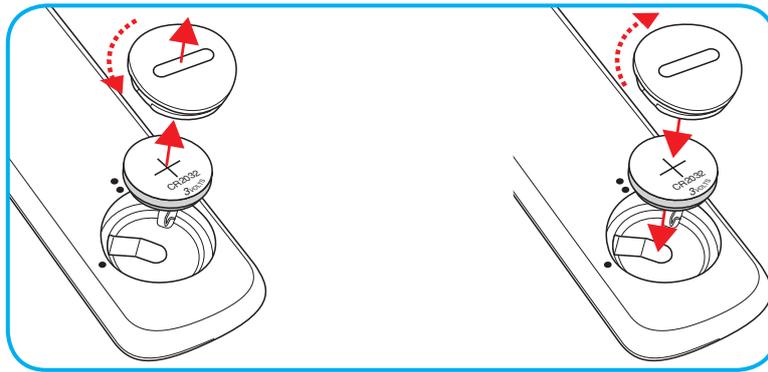
**注記:** このプロジェクターは 1.2m ~ 8.1m の距離でピントを合わせることができます。

# 設定と設置

## リモコンの準備

### 電池の取り付け/交換

1. カバーが開くまでコインを使用して、電池カバーを反時計回りに回します。
2. コンパートメントに新しい電池を取り付けます。  
古い電池を取り外し、新しい電池を取り付けます (CR2032)。「+」のある面を必ず上に向けてください。
3. カバーを元のように取り付けます。次にコインを使用して、電池カバーを時計回りに回して、所定の位置に固定します。



#### 注意事項:

安全な操作を保証するため、以下の注意事項を遵守してください。

- CR2032 タイプの電池を使用してください。
- 水または液体に接触させないようにしてください。
- リモコンを湿気または熱に曝さないでください。
- リモコンを落下させないでください。
- 電池がリモコン内で液漏れした場合は、慎重にケースをきれいに拭き取り、新しい電池を取り付けてください。
- 間違ったタイプの電池に交換すると爆発の危険性があります。
- 指示に従って、使用済電池を廃棄してください。

警告: 電池を摂取しないでください、化学火傷の危険があります。



- この製品には、コイン/ボタン電池が含まれています。コイン/ボタン電池を飲み込むと、わずか2時間で重度の火傷を負い、死亡する可能性があります。

警告: 新品および使用済みの電池は、お子様の手の届かないところに保管してください。



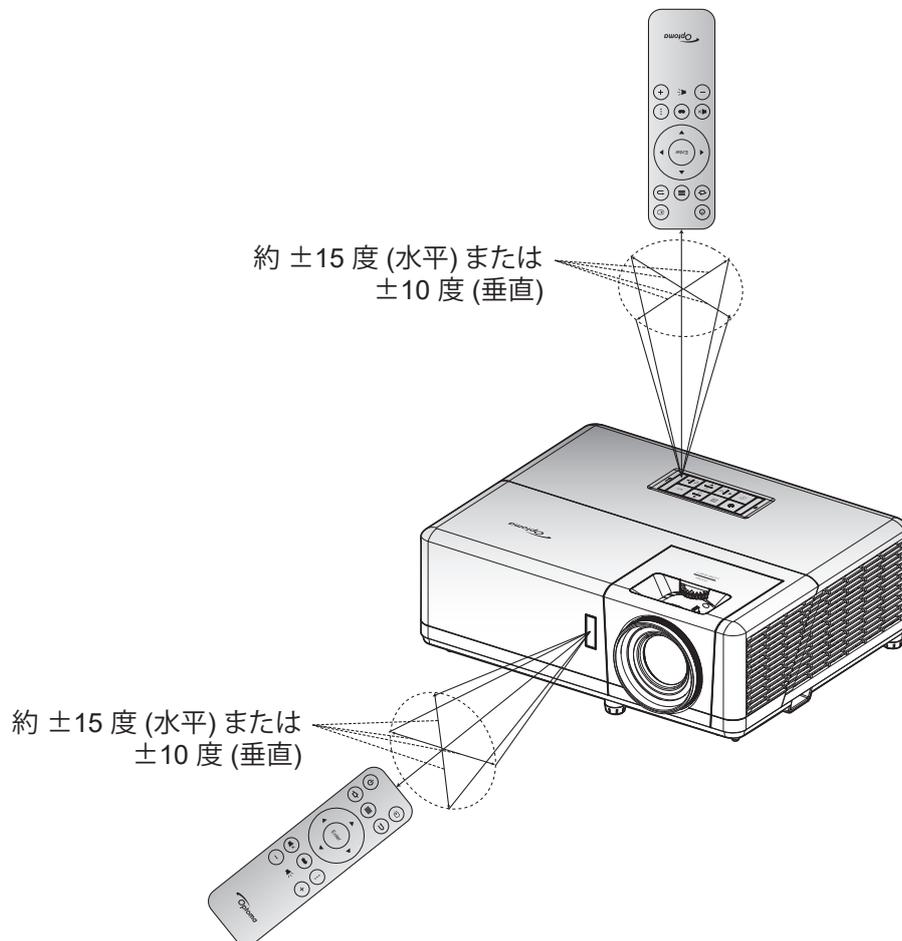
- バッテリーコンパートメントがしっかり閉まらない場合は、使用を中止し、お子様の手の届かないところに保管してください。電池を飲み込んだり、身体のどこかに入ったと思われる場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

# 設定と設置

## 有効範囲

赤外線 (IR) リモコンセンサーは、プロジェクターの上面と前面にあります。プロジェクターの IR リモコンセンサーに対して 30 度 (水平) または 20 度 (垂直) 以内の角度でリモコンを向けると正常に動作します。リモコンとセンサーの間の距離は 12 メートル (39.4 フィート) 以内にとどめてください。

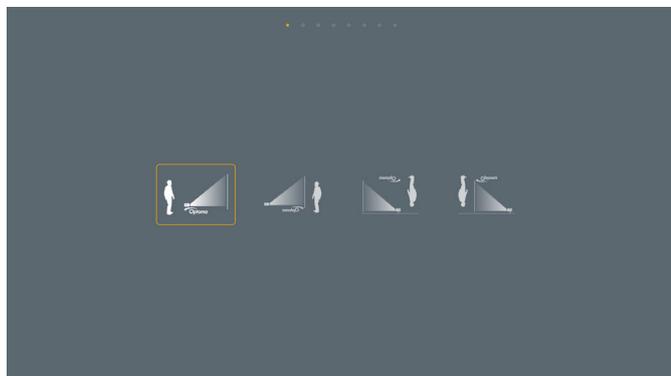
- リモコンとプロジェクターの IR センサーの間に赤外線ビームを遮断するような障害物がないことを確認します。
- リモコンの IR 伝送装置に太陽や蛍光灯の光を直接当てないでください。
- リモコンは蛍光灯から 2 メートル以上離さないと誤作動が起こることがあります。
- リモコンがインバータータイプの蛍光灯に近いと、動作しないことがあります。
- リモコンとプロジェクターの距離が近いと、リモコンが動作しないことがあります。
- スクリーンに向けるときは、リモコンからスクリーンまでの有効距離が 5 メートル以内であれば、IR ビームが反射してプロジェクターに届きます。ただし、有効範囲はスクリーンによって変わることがあります。



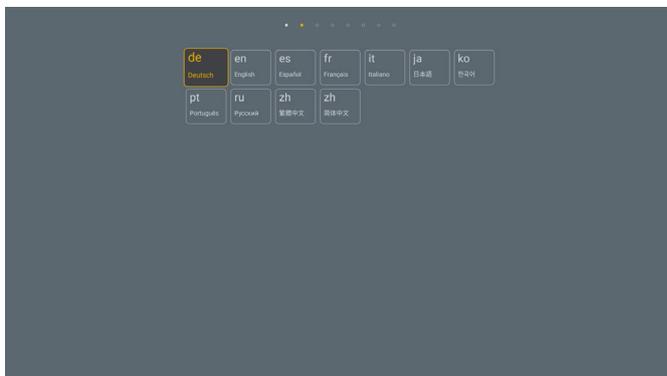
# 設定と設置

## 初期セットアップ

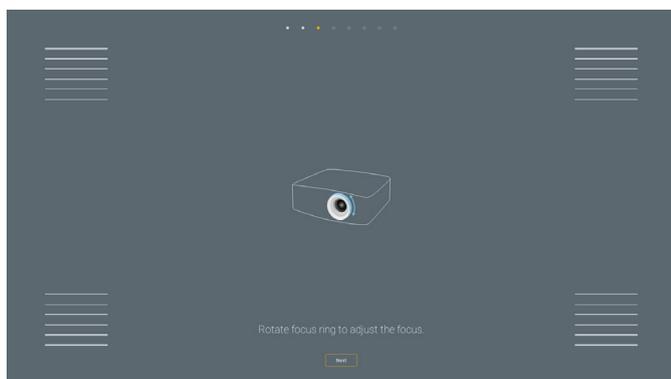
初めてプロジェクターの電源を入れると、投射方向、使用言語、ネットワーク設定を含む初期設定を行うように求められます。**設定完了!**画面が表示されたら、これはプロジェクターが使用できる状態です。



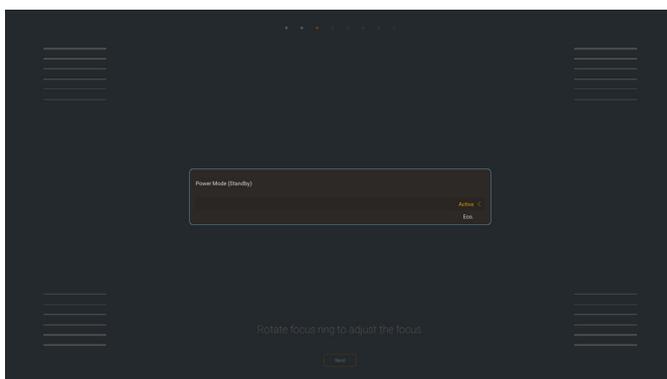
[投射方向の設定]



[言語の選択]



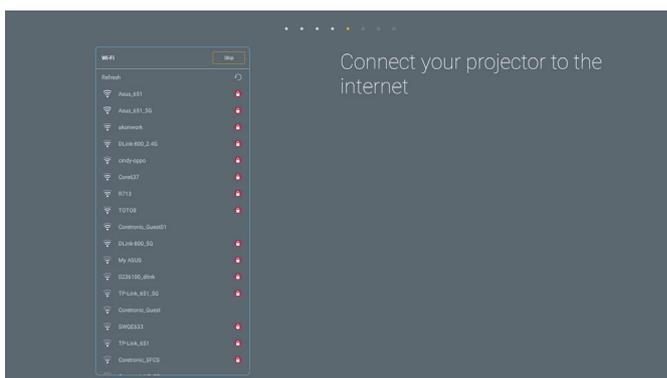
[フォーカスの調整]



[電源モード (スタンバイ) の選択]

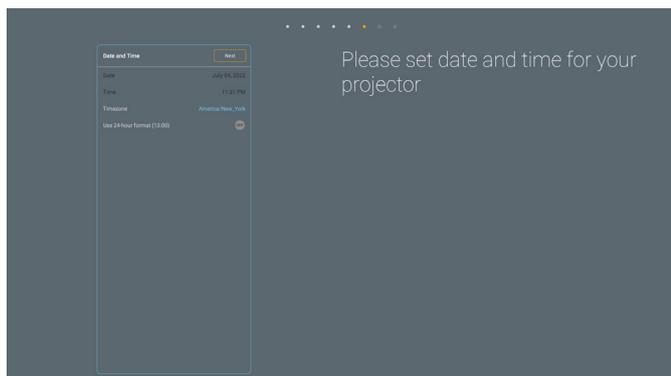


[Wi-Fi ドングルの取り付け]

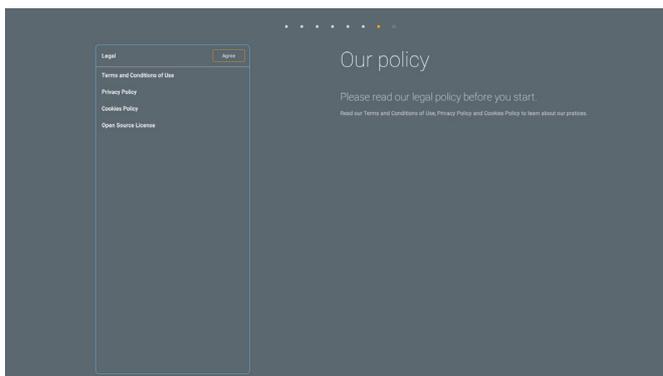


[ネットワーク設定]

# 設定と設置



[日時の設定]



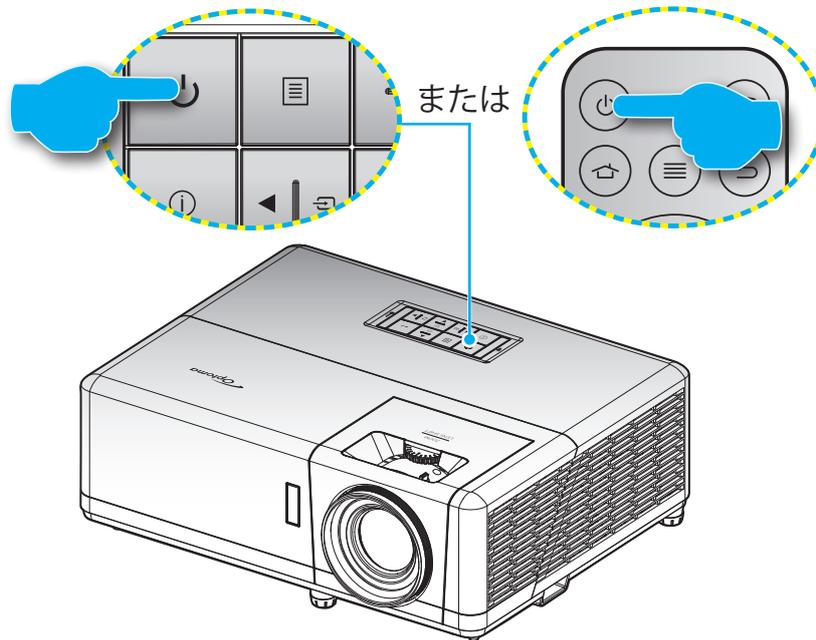
[Optoma の利用規約とポリシーに対する確認と同意]



[Optoma Management Suite]

# プロジェクターを使用する

## プロジェクターの電源を入れる/切る



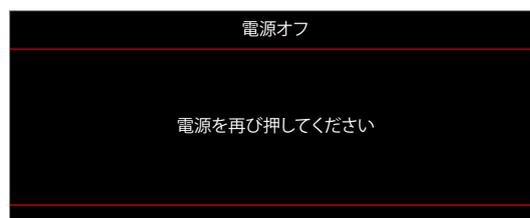
### パワーオン

1. 電源コードと信号/ソースケーブルをしっかりと接続します。正しく接続されると、電源 LED が赤く点灯します。
2. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
3. 起動画面が約 10 秒後に表示され、電源 LED が青色に点滅しはじめます。

**注記:** 初めてプロジェクターの電源を入れると、使用言語、投射方向、その他の設定を選択するように求められます。

### 電源オフ

1. プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [⏻] ボタンを押し、プロジェクターの電源を切ります。
2. 次のメッセージが表示されます。



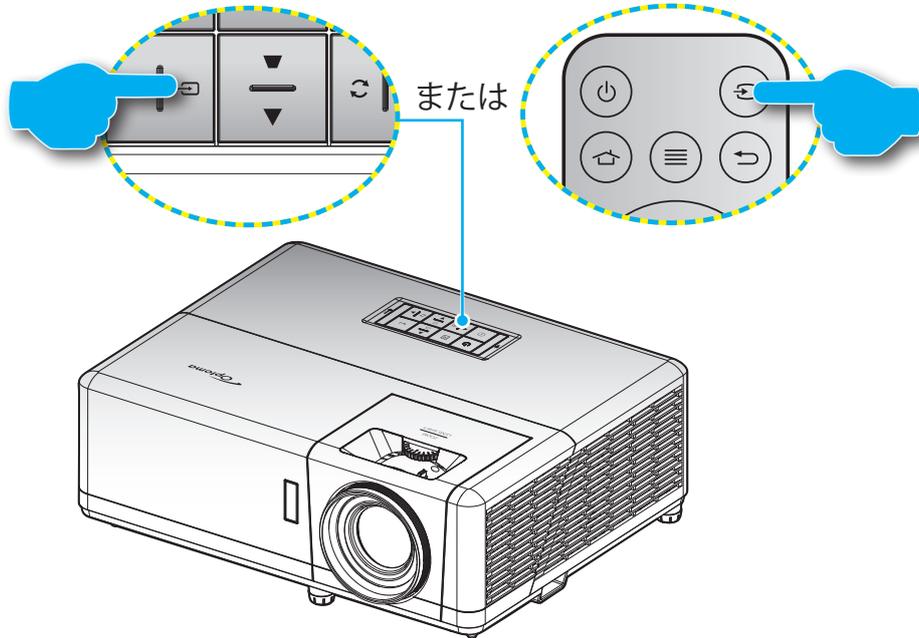
3. [⏻] ボタンを再び押して確認します。ボタンを押さない場合、15 秒後にメッセージが消えます。2 回目に [⏻] ボタンを押すと、プロジェクターはシャットダウンします。
4. 冷却ファンは約 1 秒間作動し続けて冷却を行うと、電源 LED が青色に点滅します。電源 LED が赤色に点灯すると、プロジェクターはスタンバイモードに入っています。プロジェクターの電源を再び入れる場合、冷却サイクルを終了し、スタンバイモードに入るまで待つ必要があります。プロジェクターがスタンバイモードに入ったら、[⏻] ボタンを押すだけでプロジェクターの電源が再び入ります。
5. 電源コードをコンセントとプロジェクターから抜きます。

**注記:** 電源を切った直後にプロジェクターの電源を入れる行為は推奨されません。

# プロジェクターを使用する

## 入力ソースを選択する

スクリーンに表示する接続ソース (コンピューター、ノートパソコン、ビデオプレーヤーなど) の電源を入れます。プロジェクターは、ソースを自動的に検出します。複数のソースが接続されている場合、プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [≡] ボタンを押し、入力を選択します。



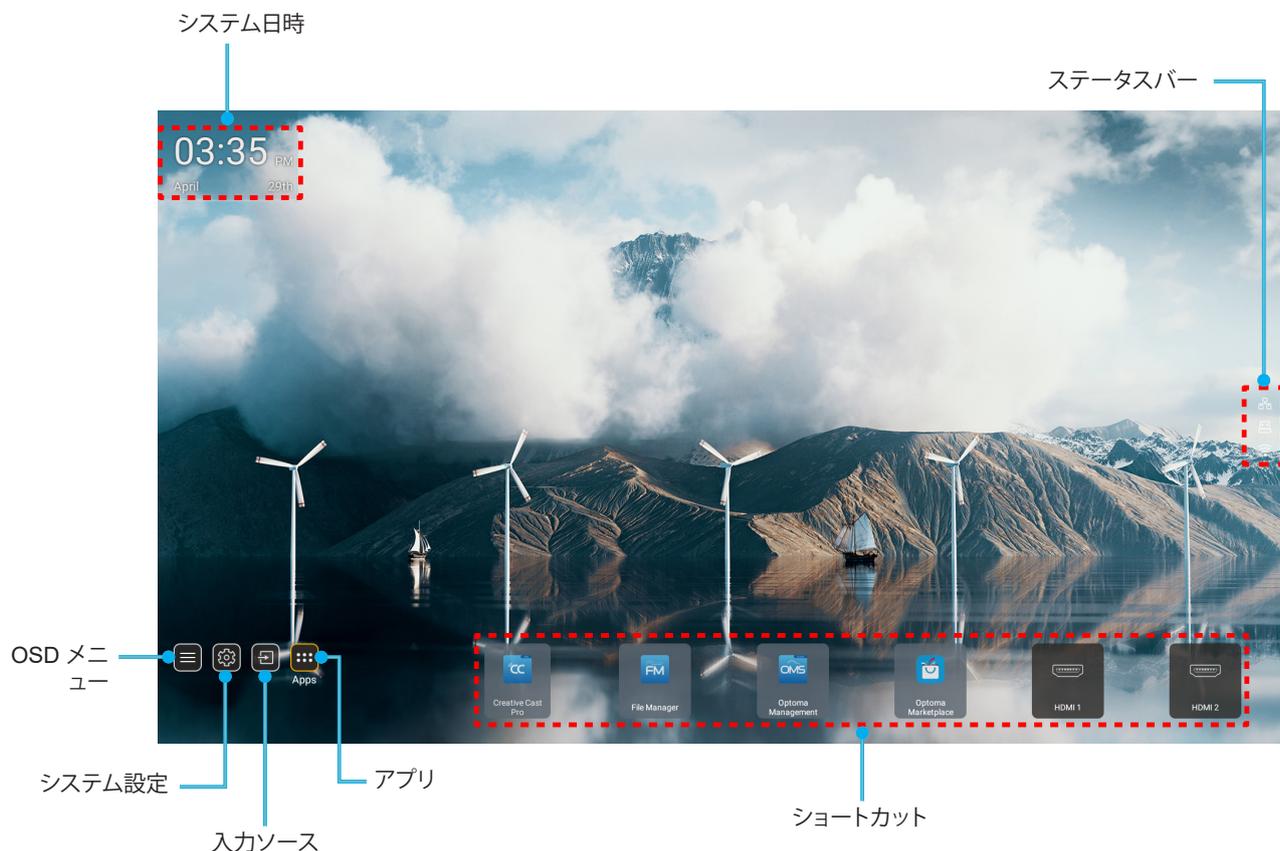
# プロジェクターを使用する

## ホーム画面の概要

プロジェクターを起動するたびにホーム画面が表示されます。システム日時、システムステータス、OSDメニューにアクセスするためのアイコン、プロジェクター設定メニュー、アプリ、入力ソースなどが含まれます。

ホーム画面をナビゲートするには、リモコンのボタンを使用してください。

ユーザーインターフェイス内の位置に関係なく、リモコンの「」を押して、いつでもホーム画面に戻ることができます。



**注記:** 例えば、上図の「アプリ」のように、選択されたメニューまたは項目がオレンジ色にハイライト表示されます。

## システム日時

プロジェクターがネットワークに接続されると、ホーム画面に日時が表示されます。デフォルト設定は、10:00am、2019/01/01 です。24 時フォーマットがオフの場合のみ、AM/PM が表示されます。

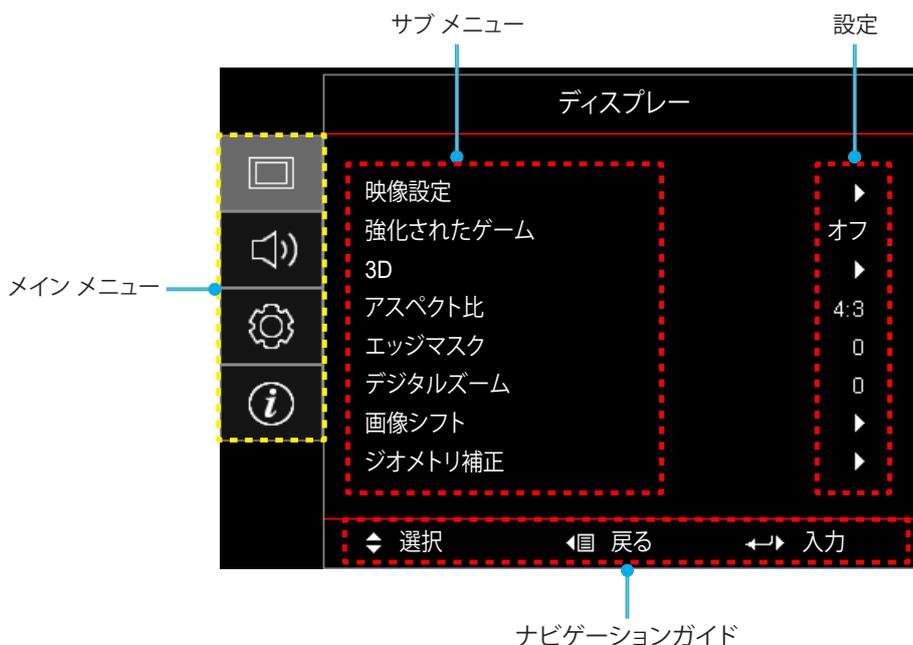
日時パラメーターを変更するには、画面の対応するフィールドを選択してください。日時設定ページが自動的に開きます。次に、変更してください。

# プロジェクターを使用する

## プロジェクター設定メニュー (OSD)

リモコンまたはホーム画面の「≡」を押して、OSD メニュー「≡」を選択して、プロジェクター情報を確認するか、画像、ディスプレイ、3D、オーディオ、設定に関連するさまざまな設定を管理してください。

### 一般的なメニューのナビゲーション



1. OSD メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定のページを選択している間に、「OK」を押して、サブメニューに入ってください。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「OK」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「OK」ボタンを押して、設定を有効または無効にし、「左」および「右」ボタンを押して、値を調整してください。
5. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
6. 終了するには、「↵」を押してください（必要に応じて、繰り返してください）。オンスクリーンメニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

# プロジェクターを使用する

## OSD メニューツリー

**注記:** OSD メニューツリーの項目と機能は、モデルと地域によって異なります。Optoma は、通知なしに製品の性能を向上させるために、項目を追加または削除する権利を留保します。

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
ディスプレイ	映像設定	ディスプレイモード			プレゼンテーション		
					高輝度		
					HDR		
					HLG		
					シネマ		
					ゲーム		
					sRGB		
					DICOM SIM.		
					ユーザー		
				3D			
			壁色補正			オフ [デフォルト]	
						黒板	
						ライトイエロー	
						ライトグリーン	
						ライトブルー	
						ピンク	
			ダイナミックレンジ	HDR/HLG			オフ
							自動 [デフォルト]
							高輝度
				HDRモード			標準 [デフォルト]
							フィルム
							詳細
				HLGモード			高輝度
							標準 [デフォルト]
							フィルム
						詳細	
			輝度				-50 ~ 50
			コントラスト				-50 ~ 50
			シャープネス				1 ~ 15
			カラー				-50 ~ 50
			色あい				-50 ~ 50
			ガンマ		フィルム		
					ビデオ		
					グラフィック		
					標準 (2.2)		
					1.8		
					2.0		
					2.4		
				2.6			

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
ディスプレイ	映像設定	色設定	BrilliantColor™		1 ~ 10	
			色温度		Warm	
					標準	
					クールホワイト	
					冷色	
			カラーマッチング	カラー		赤 [デフォルト]
						緑
						青色
						シアン
						黄
						マゼンタ
						白(*)
					色あい / R(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
					彩度 / G(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
					ゲイン / B(*)	-50 ~ 50 [デフォルト:0]
					リセット	キャンセル [デフォルト]
					はい	
				戻る		
			RGBゲイン/バイアス	赤ゲイン	-50 ~ 50	
				緑ゲイン	-50 ~ 50	
				青ゲイン	-50 ~ 50	
				赤バイアス	-50 ~ 50	
				緑バイアス	-50 ~ 50	
				青バイアス	-50 ~ 50	
				リセット	キャンセル [デフォルト]	
				はい		
				戻る		
			カラースペース [非 HDMI 入力]		自動 [デフォルト]	
					RGB	
					YUV	
			カラースペース [HDMI 入力]		自動 [デフォルト]	
					RGB (0-255)	
					RGB (16-235)	
					YUV	
			ホワイトレベル		0 ~ 31	
			ブラックレベル		-5 ~ 5	
			IRE		0	
					7.5	
			信号	自動		オフ
						オン [デフォルト]
周波数		-10 ~ 10 (信号に依存) [デフォルト: 0]				
位相		0 ~ 31 (信号に依存) [デフォルト: 0]				

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
ディスプレイ	映像設定	信号	水平位置		-5 ~ 5 (信号に依存) [デフォルト: 0]	
			垂直位置		-5 ~ 5 (信号に依存) [デフォルト: 0]	
		ブライツネスモード			ダイナミックブラック	
					エコ	
					定電力モード (電源 = 100%/ 95%/ 90%/ 85%/ 80%/ 75%/ 70%/ 65%/ 60%/ 55%/ 50%)	
		リセット			定輝度モード (電源 = 85%/80%/75%/70%)	
					キャンセル [デフォルト]	
		強化されたゲーム				はい
						オフ [デフォルト]
		3D	3D モード			オン
					オフ [デフォルト]	
	3D 技術				DLPリンク [デフォルト]	
					3D 同期	
	3D -> 2D				3D [デフォルト]	
					左	
				右		
	3D映像フォーマット				自動 [デフォルト]	
					サイド バイ サイド	
					トップアンドボトム	
	3D同期反転				フレームシーケンシャル	
					オン	
	リセット				オフ [デフォルト]	
				キャンセル [デフォルト]		
				OK		
	アスペクト比				4:3	
					16:9	
					LBX	
					ネイティブ	
					自動 [デフォルト]	
	エッジマスク				0 ~ 10 [デフォルト:0]	
	デジタルズーム				-5 ~ 25 [デフォルト:0]	
	画像シフト	水平 <input type="checkbox"/>				-100 ~ 100 [デフォルト:0]
		垂直 <input type="checkbox"/>				-100 ~ 100 [デフォルト:0]
	ジオメトリ補正	4コーナー				
		水平キーストン				LT:-30 ~ 30 ST:-15 ~ 15 [デフォルト:0]
		垂直キーストン				LT:-30 ~ 30 ST:-15 ~ 15 [デフォルト:0]
		自動キーストン				オフ
						オン [デフォルト]

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値		
ディスプレイ	ジオメトリ補正	リセット			キャンセル [デフォルト]		
					OK		
オーディオ	ミュート				オフ [デフォルト]		
					オン		
	音量					0 ~ 10 [デフォルト:5]	
		オーディオ入力	HDMI1			オーディオ 1	
					オーディオ 2		
					デフォルト [デフォルト]		
					MIC		
	HDMI2				オーディオ 1		
					オーディオ 2		
					デフォルト [デフォルト]		
					MIC		
	VGA			オーディオ 1 [デフォルト]			
				オーディオ 2			
				MIC			
	ビデオ			オーディオ 1			
				オーディオ 2 [デフォルト]			
			MIC				
設定	設置モード				フロント  [デフォルト]		
					リア 		
					天井 - トップ 		
					リア - トップ 		
	電源設定	電源検知オートパワーオン				オフ [デフォルト]	
						オン	
		信号検知オートパワーオン				オフ [デフォルト]	
						オン	
		自動電源オフ(分)				0 ~ 180 (5 分の増分) [デフォルト:20]	
		スリープタイマー(分)	常にON				0 ~ 990 (30 分の増分) [デフォルト:0]
							いいえ [デフォルト]
	電源モード (スタンバイ)					はい	
						アクティブ	
						エコ [デフォルト]	
	USB 電源 (スタンバイ)					オフ [デフォルト]	
						オン	
	セキュリティ	セキュリティ				オフ	
						オン	
		セキュリティタイマー	月				
			日				
パスワードの変更					[デフォルト: 1234]		

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	HDMIリンク設定	HDMI リンク設定			オフ [デフォルト]	
					オン	
		モニター連動			いいえ [デフォルト]	
					はい	
		電源オン設定				双方向設定 [デフォルト]
						PJ --> デバイス
						デバイス --> PJ
						オフ [デフォルト]
	テストパターン					オン
						緑のグリッド
						マゼンタのグリッド
						白グリッド
						白
	プロジェクター ID					オフ
						00 ~ 99
	12V トリガー					オン
						オフ
	オプション	言語				English [デフォルト]
						Deutsch
						Français
						Italiano
						Español
						Português
						Polski
						Nederlands
						Svenska
						Norsk/Dansk
						Suomi
						ελληνικά
						繁體中文
						簡体中文
						日本語
						<b>한국어</b>
Русский						
Magyar						
Čeština						
عربي						
ไทย						
Türkçe						
فارسی						
Tiếng Việt						
Bahasa Indonesia						
Română						
Slovenčina						

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	オプション	クローズドキャプション			CC1	
					CC2	
					オフ [デフォルト]	
		メニュー設定	メニュー位置			左上 
						右上 
						中央  [デフォルト]
						左下 
						右下 
			メニュータイマー			オフ
						5 秒
		オートソース			10sec [デフォルト]	
					オフ [デフォルト]	
		入力ソース			オン	
					HDMI1	
					HDMI2	
					VGA	
					ビデオ	
		入力名			ホーム	
			HDMI1			デフォルト [デフォルト]
						カスタム
			HDMI2			デフォルト [デフォルト]
						カスタム
			VGA			デフォルト [デフォルト]
						カスタム
			ビデオ			デフォルト [デフォルト]
						カスタム
			ホーム			デフォルト [デフォルト]
					カスタム	
		高地モード			オフ [デフォルト]	
					オン	
		ディスプレイモードロック			オフ [デフォルト]	
					オン	
		キーパッドロック			オフ [デフォルト]	
					オン	
		情報を表示しない			オフ [デフォルト]	
					オン	
		ロゴ			デフォルト [デフォルト]	
					ニュートラル	
					ユーザー	

# プロジェクターを使用する

メインメニュー	サブメニュー	サブメニュー 2	サブメニュー 3	サブメニュー 4	値	
設定	オプション	背景色			なし	
					青色 [デフォルト]	
					赤	
					緑	
					グレー	
					ロゴ	
	リセット	OSDをリセット			キャンセル [デフォルト]	
					OK	
	初期状態にリセット			キャンセル [デフォルト]		
				OK		
情報	制御					
	シリアル番号					
	ソース					
	解像度				00x00	
	リフレッシュレート				0.00Hz	
	ディスプレイモード					
	電源モード (スタンバイ)					
	光源使用時間				0 hr	
	ネットワーク情報					
	IP アドレス					
	プロジェクター ID				00 ~ 99	
	ブライトネスモード					
	FW バージョン	システム				
		Android				
MCU						

# プロジェクターを使用する

## ディスプレイメニュー

### 映像設定メニュー

#### ディスプレイモード

表示の好みに合わせて選択できる、事前定義されたディスプレイモードがいくつかあります。各モードは、幅広いコンテンツに対して優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

- **プレゼンテーション:** このモードは、ビジネス環境および教育環境用のほとんどのプレゼンテーションに適しています。
- **高輝度:** このモードは、明るい部屋でプロジェクターを使用するなど、非常に高い輝度が必要な環境に適しています。
- **HDR /HLG:** ハイダイナミックレンジ (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) コンテンツを復号し、表示し、REC.2020 色範囲で濃い黒、明るい白、映画のように鮮やかな色を再現します。このモードは、HDR/HLG が自動的に設定されている場合、自動的に有効になります (HDR/HLG コンテンツがプロジェクターに送信されます – 4K UHD Blu-ray、1080p/4K UHD HD/HLGR ゲーム、4K UHD ストリーミングビデオ)。HDR/HLG モードが有効なとき、他の表示モード (映画や参照など) は選択できません。HDR/HLG は、他の表示モードの色パフォーマンスを超える、非常に精密な色を再現するからです。
- **シネマ:** 映画鑑賞に最適なディテールと色のバランスを提供します。
- **ゲーム:** ビデオゲームをプレイするときに影の詳細を確認できるように、最大のコントラストと鮮やかな色にプロジェクターを最適化します。
- **sRGB:** 標準化された正確なカラー。
- **DICOM SIM.:** このモードは、医療訓練中のX線画像および走査画像の閲覧など、グレースケール画像の確認用に開発されました。  
**注記:** \* このプロジェクターは、医療診断での使用には適していません。
- **ユーザー:** ユーザー定義の設定を記憶し、独自のディスプレイモード設定を調整します。
- **3D:** 3D コンテンツを視聴するための最適化された設定。  
**注記:** 3D 効果を体験するには、互換性のある DLP Link 3D メガネを用意する必要があります。詳細については、「3D」のセクションをご覧ください。

#### 壁色補正

スクリーンのない壁に投影するときに、投影される画像の色を調整するように設計されています。各モードは、優れた色性能を保証するために、専門のカラーチームによって微調整されています。

壁の色に合わせて選択できる、事前定義されたモードがいくつかあります。オフ、黒板、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、ピンク、グレー から選択します。

**注記:** 正確な色再現のために、スクリーンの使用をお勧めします。

#### ダイナミックレンジ

4K Blu-ray プレーヤーおよびストリーミングデバイスからビデオを表示するとき、高ダイナミック範囲 (HDR)/Hybrid Log Gamma (HLG) 設定およびその効果を構成します。

**注記:** HDMI のみがダイナミックレンジ機能をサポートします。

##### ▶ HDR/HLG

- **オフ:** HDR/HLG 処理をオフに切り替えます。オフに設定すると、プロジェクターは HDR/HLG コンテンツを復号しません。
- **自動:** HDR/HLG 信号を自動検出します。

##### ▶ HDRモード/HLGモード

- **高輝度:** このモードを選択すると、より飽和した色が再現されます。
- **標準:** このモードを選択すると、色調の暖かさと冷たさのバランスが取れた、自然な色を再現します。
- **フィルム:** このモードを選択すると、細部が改善され、画像が鮮明になります。

# プロジェクターを使用する

- **詳細:** 最高のカラーマッチングを実現するために、信号は OETF 変換に由来します。

## 輝度

画像の輝度を調整します。

## コントラスト

コントラストは、画像や画像の最暗部 (黒) と最明部 (白) の差の度合いを調整します。

## シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

## カラー

ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。

## 色あい

赤と緑のカラーバランスを調整します。

## ガンマ

ガンマカーブタイプを設定します。初期セットアップと微調整が完了したら、ガンマ調整ステップを利用して画像出力を最適化します。

- **フィルム:** ホームシアター用。
- **ビデオ:** ビデオまたは TV ソース用。
- **グラフィック:** PC/写真ソース用。
- **標準 (2.2):** 標準化された設定用。
- **1.8/2.0/2.4/2.6:** 特定の PC/写真ソース用。

## 色設定

色設定を行います。

- **BrilliantColor™:** 新しいカラー処理アルゴリズムとエンハンスメントを利用して高い輝度を可能にしながら、画像に真の鮮やかなカラーを実現します。
- **色温度:** Warm、標準、クールホワイト、または冷色から色温度を選択します。
- **カラーマッチング:** 次のオプションを選択します:
  - カラー: 画像の赤、緑、青、シアン、黄、マゼンタ、白レベルを調整します。
  - 色あい / R(赤)\*: 赤と緑のカラーバランスを調整します。  
**注記:** \* カラー設定が **白** に設定されている場合、赤色設定を調節できます。
  - 彩度 / G(緑)\*: ビデオ画像を、白黒から完全飽和色まで調整します。  
**注記:** \* カラー設定が **白** に設定されている場合、緑色設定を調節できます。
  - ゲイン / B(青)\*: 画像の明るさを調整します。  
**注記:** \* カラー設定が **白** に設定されている場合、青色設定を調節できます。
  - リセット: カラーマッチングを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [カラーマッチング] メニューを終了します。
- **RGB ゲイン/バイアス:** この設定でイメージの輝度 (ゲイン) とコントラスト (バイアス) を構成できます。
  - リセット: RGB ゲイン/バイアスを工場出荷時デフォルト設定に戻します。
  - 戻る: [RGB ゲイン/バイアス] メニューを終了します。
- **カラースペース (非 HDMI 入力のみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します: 自動、RGB、または YUV。

# プロジェクターを使用する

- **カラースペース (HDMI 入力のみ):** 以下から適切なカラーマトリックスタイプを選択します:  
自動、RGB (0-255)、RGB (16-235) および YUV。
- **ホワイトレベル:** ビデオ信号を入力しているとき、ホワイトレベルを調整できます。  
**注記:** ホワイトレベルはビデオ/S-ビデオ入力ソースに対してのみ調節できます。
- **ブラックレベル:** ビデオ信号を入力しているとき、ブラックレベルを調整できます。  
**注記:** ブラックレベルはビデオ/S-ビデオ入力ソースに対してのみ調節できます。
- **IRE:** ビデオ信号を入力しているとき、IRE 値を調整できます。  
**注記:**
  - IRE は NTSC ビデオ形式でのみ利用できます。
  - IRE はビデオ/S-ビデオ入力ソースに対してのみ調節できます。

## 信号

信号オプションを調整します。

- **自動:** 信号を自動的に設定します (周波数と位相項目はグレー表示になります)。自動が無効になっている場合、設定を手動で調整し保存できるように周波数と位相項目が表示されます。
- **周波数:** ディスプレイデータ周波数を変更して、コンピューターのグラフィックカード周波数に適合させます。画像が垂直方向でちらついて見える場合のみ、この機能をお使いください。
- **位相:** ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。
- **水平位置:** 画像の水平位置を調整します。
- **垂直位置:** 画像の垂直位置を調整します。

**注記:** このメニューは、入力ソースが、RGB/コンポーネントである場合のみ利用可能です。

## ブライトネスモード

ブライトネスモードの設定を調整します。

- **ダイナミックブラック:** 最適なコントラストパフォーマンスを発揮できるよう、画像の輝度を自動的に調整するために使用します。
- **エコ:** 「エコ」を選択するとプロジェクターレーザーのダイオードを減らして電源消費量を少なくし、レーザーダイオードの寿命を延長することができます。
- **定電力モード:** ブライトネスモードの消費電力パーセンテージを選択します。
- **定輝度モード:** 定輝度モードでは、時間が経過しても輝度を一定に維持するように、LD 輝度の強度を変化させます。

## リセット

色設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## エンハンストゲーミングメニュー

### 強化されたゲーム

ゲーム中にこの機能を有効にして、応答時間 (入力待機時間) を 8.2 ミリ秒 (1080p@120Hz) に低減します。すべてのジオメトリ設定 (例: キーストン、四隅) は、エンハンストゲーミングモードが有効であるとき、無効になります。以下の追加情報を参照してください。

#### 注記:

- 信号による入力ラグは、次の表に記載する通りです。
- 表の値は若干変動する場合があります。

ソースタイミング (HDMI1)	強化されたゲーム	出力	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60Hz	1080p	16.2 ミリ秒
1080p120	オン	1080p120Hz	1080p	8.2 ミリ秒
4K60	オン	1080p60Hz	1080p	16.8 ミリ秒
1080p60	オフ	1080p60Hz	1080p	49.5 ミリ秒
1080p120	オフ	1080p120Hz	1080p	24.8 ミリ秒
4K60	オフ	1080p60Hz	1080p	49.9 ミリ秒

ソースタイミング (HDMI2)	強化されたゲーム	出力	出力解像度	入力遅延
1080p60	オン	1080p60Hz	1080p	16.2 ミリ秒
1080p120	オン	1080p120Hz	1080p	8.2 ミリ秒
1080p60	オフ	1080p60Hz	1080p	49.5 ミリ秒
1080p120	オフ	1080p120Hz	1080p	24.8 ミリ秒

- 「強化されたゲーム」モードが有効になっている場合、3D、アスペクト比、エッジマスク、デジタルズーム、画像シフトおよびジオメトリ補正機能は自動的に無効になります。予めご了承ください。「強化されたゲーム」を無効にすると、これらの機能と設定が復元されます。

# プロジェクターを使用する

## 3D メニュー

### 注記:

- このプロジェクターは、DLP-Link 3D ソリューションを備えた 3D 対応プロジェクターです。
- ビデオをお楽しみになる前に、3D メガネが DLP-Link 3D 用であることをご確認ください。
- このプロジェクターは、HDMI1/HDMI2/VGA ポートを介して Frame Sequential (ページフリップ) 3D をサポートしています。
- 3D モードを有効にするには、入力フレームレートを 60Hz のみに設定してください。これより低いまたは高いフレームレートはサポートされていません。
- 最良の映像を実現するために、1920x1080 の解像度が推奨されます。3D モードでは、4K (3840x2160) の解像度に対応していません。

### 3D モード

このオプションを利用し、3D 機能を有効または無効にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、3D モードがオフになります。
- **オン:** [オン] を選択すると、3D モードがオンになります。

### 3D 技術

このオプションを使用して、3D 技術を選択します。

- **DLPリンク:** 選択して DLP 3D 眼鏡の最適化された設定を使用します。
- **3D 同期:** IR、RF または偏光 3D 眼鏡用に最適化された設定を使用するために選択します。

### 3D -> 2D

このオプションを使って、画面に 3D コンテンツを表示する方法を指定します。

- **3D:** 3D 信号を表示します。
- **左:** 3D コンテンツの左フレームを表示します。
- **右:** 3D コンテンツの右フレームを表示します。

### 3D 映像フォーマット

このオプションを使って、適切な 3D フォーマットのコンテンツを選択します。

- **自動:** 3D 識別信号を検出すると、3D 映像フォーマットが自動的に選択されます。
- **サイドバイサイド:** 「サイドバイサイド」フォーマットで 3D 信号を表示します。
- **トップアンドボトム:** 3D 信号を「トップアンドボトム」フォーマットで表示します。
- **フレームシーケンシャル:** 3D 信号を「フレームシーケンシャル」フォーマットで表示します。

### 3D同期反転

このオプションを使って、3D 同期反転機能を有効/無効にします。

### リセット

3D 設定を工場出荷時設定に戻します。

- **キャンセル:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **OK:** 3D 設定を工場出荷時設定に戻す場合に選択します。

# プロジェクターを使用する

## アスペクト比メニュー

### アスペクト比

次のオプションから、表示される画像のアスペクト比を選択します:

- **4:3:** このフォーマットは、4:3 入力ソース用です。
- **16:9:** ワイドスクリーン テレビのために用意される高画質のHDTVやDVDのような 16:9 入力用です。
- **LBX:** 16x9 ではないレターボックスソースを投影する場合や、外部 16x9 レンズを使用して画像を 2.35:1 アスペクト比で最大解像度により投影する場合に選択します。
- **ネイティブ:** このフォーマットは、スケーリングなしでオリジナルの画像を表示します。
- **自動:** 適切なディスプレイフォーマットを自動的に選択します。

**注記:** LBX モードに関する詳細情報:

- 一部のレターボックスフォーマット DVD には、16x9 TV のために用意されていないものもあります。この場合、16:9 モードのイメージは正しく表示されません。この場合、4:3 モードを使って DVD を表示してみてください。コンテンツが 4:3 ではない場合、16:9 ディスプレーの画像の周りに黒いバーが表示されます。このタイプのコンテンツの場合、LBX モードを使って 16:9 ディスプレーに画像を合わせることができます。
- 外部アナモフィックレンズを使用する場合、この LBX モードによりアナモフィックワイドをサポートする 2.35:1 コンテンツ (アナモフィック DVD と HDTV フィルムソースを含む) を視聴することも可能で、ワイド 2.35:1 画像では 16x9 ディスプレーに対して機能強化されています。こうすれば黒いバーは表示されなくなります。光源パワーと垂直方向の解像度がフル活用されます。

### 1080p スケーリングテーブル:

16:9 画面	480i/p	576i/p	1080i/p	720p	PC
4x3	1440x1080 にスケーリングします。				
16x9	1920x1080 にスケーリングします。				
ネイティブ	- 1:1 中央にマッピング。 - スケーリングを行わず、入力ソースに基づく解像度で画像を表示します。				

### 1080p 自動マッピング規則:

自動	入力解像度		自動/拡大縮小	
	水平解像度	垂直解像度	1920	1080
4:3	640	480	1440	1080
	800	600	1440	1080
	1024	768	1440	1080
	1280	1024	1440	1080
	1400	1050	1440	1080
	1600	1200	1440	1080
ワイドノート PC	1280	720	1920	1080
	1280	768	1800	1080
	1280	800	1728	1080
SDTV	720	576	1350	1080
	720	480	1620	1080
HDTV	1280	720	1920	1080
	1920	1080	1920	1080

# プロジェクターを使用する

## エッジマスクメニュー

### エッジマスク

この機能を使って、ビデオソースのエッジのビデオエンコードノイズを除去します。

## デジタルズームメニュー

### デジタルズーム

スクリーンに投影される画像を縮小または拡大するために使用します。デジタルズームは、光学ズームと同じではなく、画質が劣化する場合があります。

**注記:** ズーム設定は、プロジェクターの電源を入れ直しても保持されます。

## イメージシフトメニュー

### 画像シフト

投影される画像位置を水平 (H) または垂直 (V) に調整します。

## ジオメトリ補正メニュー

### 4コーナー

この設定により、投影面が水平でない場合に、投影画像を各コーナーから調整して正方形の画像にすることができます。

**注記:** 4コーナーを調整中、デジタルズーム、アスペクト比、および画像シフトメニューは無効になっています。デジタルズーム、アスペクト比、および画像シフトを有効にするには、4コーナー設定を工場出荷時デフォルト設定にリセットします。

### 水平キーストン

画像の歪みを水平方向に調整し、正方形の画像を作成します。水平キーストンは、画像の左右の境界の長さが等しくないキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、水平軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

### 垂直キーストン

画像の歪みを垂直方向に調整し、正方形の画像を作成します。垂直キーストンは、上下が片側に傾いているキーストン画像の形状を修正するために使用されます。これは、垂直軸上アプリケーションでの使用を目的としています。

### 自動キーストン

投射している領域に投射画像を合わせるためにキーストンをデジタルで補正します。

#### 注記:

- 水平および垂直キーストンを調整するとき、画像サイズは若干縮小されます。
- 自動キーストンを使用すると、4コーナー調整機能が無効になります。

### リセット

ジオメトリ補正設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

- **キャンセル:** リセットをキャンセルするために選択します。
- **OK:** ジオメトリ補正設定を工場出荷時設定に戻すために選択します。

# プロジェクトターを使用する

## オーディオメニュー

### ミュートメニュー

#### ミュート

このオプションを使って、一時的に音声をオフに切り替えます。

- **オン:** 「オン」を選択して、ミュートをオンに切り替えます。
- **オフ:** [オフ] を選択して、ミュートをオフに切り替えます。

**注記:** [ミュート] 機能は、内蔵および外付けスピーカーの音量に影響を与えます。

### 音量メニュー

#### 音量

音量レベルを調整します。

### 音声入力メニュー

#### オーディオ入力

ビデオソースに対するオーディオ入力ポートを次のように選択します:

- **HDMI1:** オーディオ 1、オーディオ 2、デフォルトまたはMIC。
- **HDMI2:** オーディオ 1、オーディオ 2、デフォルトまたはMIC。
- **VGA:** [オーディオ 1]、[オーディオ 2]、または [MIC]。
- **ビデオ:** [オーディオ 1]、[オーディオ 2]、または [MIC]。

# プロジェクターを使用する

## 設定メニュー

### 投影メニュー

#### 設置モード

フロント、背面、天井 - 上部、および背面 - 上部からお好みの投影を選択します。

### 電源設定メニュー

#### 電源検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、電源探知オートパワーオンモードが有効になります。プロジェクターは、AC 電源が供給されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの [電源] キーを押す必要はありません。

#### 信号検知オートパワーオン

「オン」を選択すると、信号電源モードが有効になります。プロジェクターは、信号が検出されると自動的に電源オンになります。プロジェクターのキーパッドまたはリモコンの「電源」キーを押す必要はありません。

#### 注記:

- [信号検知オートパワーオン] オプションが [オン] に切り替えられている場合、待機モードでのプロジェクターの消費電力は 3W を超えます。
- この機能は VGA および HDMI ソースに適用されます。

#### 自動電源オフ(分)

カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。

#### スリープタイマー (分)

スリープタイマーを設定します。

- **スリープタイマー (分):** カウントダウンタイマーの時間を設定します。カウントダウンタイマーは、プロジェクターへの入力信号の有無に関わらず、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクターの電源が切れます (単位は分です)。  
**注記:** スリープタイマーは、プロジェクターの電源を切るたびにリセットされます。
- **常にON:** スリープタイマーが常に ON に設定されていることを確認します。

#### 電源モード (スタンバイ)

電源モードを設定します。

- **アクティブ:** [アクティブ] を選択すると通常スタンバイに戻ります。
- **エコ:** [エコ] を選択すると、節電モードになります (<0.5W)。

#### USB 電源 (スタンバイ)

プロジェクターがスタンバイモードのとき、USB パワー機能を有効または無効にします。

# プロジェクターを使用する

## セキュリティメニュー

### セキュリティ

プロジェクターを使用する前にパスワード入力を求めるようにするには、この機能を有効にします。

- ・ **オン:** [オン] を選択すると、プロジェクターの電源を入れるときにセキュリティー検証を行います。
- ・ **オフ:** [オフ] を選択すると、パスワード検証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

**注記:** デフォルトのパスワードは「1234」です。

### セキュリティタイマー

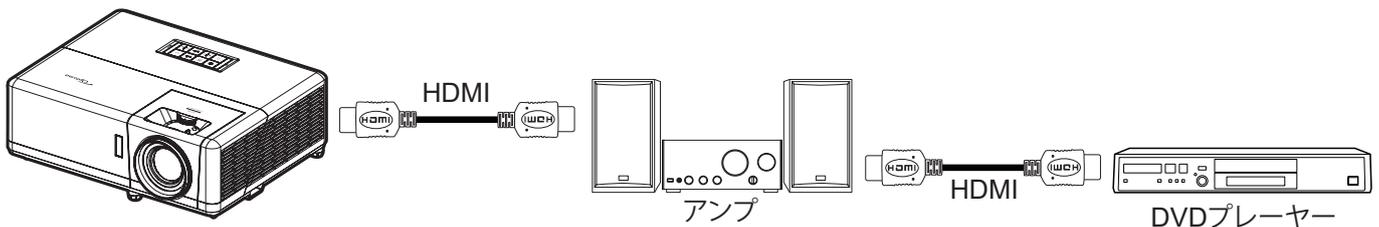
時間 (月/日/時) 機能を選択して、プロジェクタの使用可能時間数を設定します。設定した時間が経過すると、プロジェクタから再度パスワードを入力するよう要求されます。

### パスワードの変更

プロジェクターを電源オンする際、入力するように求められるパスワードを設定または変更するために使用します。

## HDMI リンク設定メニュー

**注記:** HDMI ケーブルで HDMI CEC 互換デバイスをプロジェクタに接続するとき、プロジェクターの OSD で HDMI Link コントロール機能を使い同じ電源オンまたは電源オフ状態でコントロールできます。これにより、1 台のデバイスまたはグループの複数のデバイスが HDMI Link 機能経由で電源オンまたは電源オフにすることができます。一般設定の場合、DVD プレーヤーはアンプまたはシアターシステムを通してプロジェクターに接続されます。



### HDMI リンク設定

HDMI Link 機能の有効と無効を切り替えます。

### モニター連動

設定が「はい」に設定されている場合は、電源オンおよび電源オフのリンクオプションを使用できます。

### 電源オン設定

CEC 電源オンコマンド。

- ・ **双方向設定:** プロジェクタとCECデバイスが両方同時にオンになります。
- ・ **PJ --> デバイス:** プロジェクタがオンになった後でのみ、CEC デバイスのスイッチがオンになります。
- ・ **デバイス --> PJ:** CEC デバイスがオンになった後でのみ、プロジェクタのスイッチがオンになります。

### 電源オフ設定

この機能を有効にして、HDMI リンクとプロジェクターの両方を同時に自動的にオフにします。

# プロジェクターを使用する

## テストパターンメニュー

### テストパターン

テストパターンを緑のグリッド、マゼンタのグリッド、白のグリッド、白から選択するか、この機能を無効にします (オフ)。

## プロジェクターIDメニュー

### プロジェクター ID

ID 定義をメニュー (0~99まで) で設定できます。ユーザーは RS232 コマンドを使って、個別のプロジェクターをコントロールできるようになります。

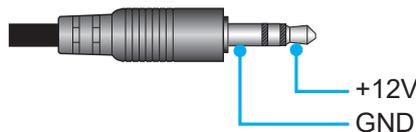
**注記:** RS232 コマンドの完全な一覧については、当社の Web サイトの RS232 ユーザーマニュアルを参照してください。

## 12Vトリガメニュー

### 12V トリガー

この機能を使って、トリガを有効または無効にします。

**注記:** リレーシステム制御用に 12V 500mA (最大) を出力する 3.5 mm ミニジャック。



- ・ **オン:** 「オン」を選択するとトリガが有効になります。
- ・ **オフ:** 「オフ」を選択するとトリガが無効になります。

## オプションメニュー

### 言語

多言語 OSD メニューを英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語、オランダ語、スウェーデン語、ノルウェー語、デンマーク語、フィンランド語、ギリシャ語、繁体字中国語、簡体字中国語、日本語、韓国語、ロシア語、ハンガリー語、チェコスロバキア語、アラビア語、タイ語、トルコ語、ペルシア語、ベトナム語、インドネシア語、ルーマニア語、およびスロバキア語から選択します。

### クローズドキャプション

[クローズドキャプション] はプログラムの音声あるいはその他の情報をテキストとして画面上に表示します。入力信号がクローズドキャプションを含んでいる場合、この機能をオンにしてチャンネルを閲覧することができます。利用可能オプションは、[オフ]、[CC1]、および[CC2] です。

### メニュー設定

画面上のメニュー位置を設定し、メニュータイマーを設定します。

- ・ **メニュー位置:** スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。
- ・ **メニュータイマー:** OSD メニューが画面上に表示される時間を設定します。

### オートソース

利用可能な入力源をプロジェクターに自動検出させるには、このオプションを選択します。

### 入力ソース

入力ソースを HDMI1、HDMI2、VGA、ビデオ、ホーム から選択します。

# プロジェクターを使用する

## 入力名

簡単に特定できるように入力機能の名前を変更するために使用します。利用可能なオプションには、HDMI1、HDMI2、VGA、ビデオ、ホームが含まれます。

## 高地モード

「オン」を選択すると、ファンがより高速に回転します。この機能は、高度が高く、空気の濃度が低い環境に便利です。

## ディスプレイモードロック

[オン] または [オフ] を選択し、表示モード設定の調整をロックまたはロック解除します。

## キーパッドロック

キーパッドロック機能が「オン」であるとき、キーパッドがロックされます。しかし、リモコンでプロジェクターを操作できます。「オフ」を選択すると、キーパッドを再び使用できるようになります。

## 情報を表示しない

この機能を有効にして、情報メッセージを非表示にします。

- **オフ:** [オフ] を選択すると、[検索中] メッセージが表示されます。
- **オン:** [オン] を選択すると、[情報メッセージ] が非表示になります。

## ロゴ

この機能を使って希望のスタートアップスクリーンを設定します。設定を変更した場合、次に電源を入れたときから新しい設定が適用されます。

- **デフォルト:** デフォルトの起動画面です。
- **ニュートラル:** ロゴは起動画面に表示されません。
- **ユーザー:** ロゴキャプチャツールが必要です。  
**注記:** Web サイトにアクセスして、ロゴキャプチャツールをダウンロードしてください。  
サポートするファイル形式は png/bmp/jpg です。

## 背景色

信号が利用できない場合、この機能を使って、青、赤、緑、グレー、なし、またはロゴ画面を表示します。

**注記:** 背景色が [なし] に設定されている場合、背景色は黒になります。

## OSD メニューのリセット

### OSDをリセット

OSD メニューの設定が工場出荷時設定に戻ります。

### 初期状態にリセット

すべての設定 (Android の設定を含む) を工場出荷時設定に戻します。

# プロジェクターを使用する

## 情報メニュー

以下に示すプロジェクター情報を表示します:

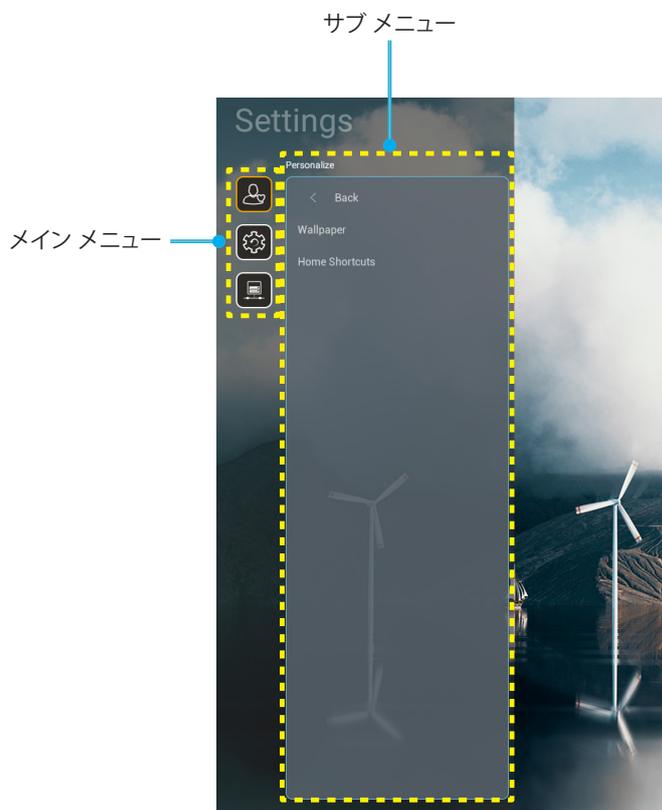
- 制御
- シリアル番号
- ソース
- 解像度
- リフレッシュレート
- ディスプレイモード
- 電源モード (スタンバイ)
- 光源使用時間
- ネットワーク情報
- IP アドレス
- プロジェクター ID
- ブライトネスモード
- FW バージョン

# プロジェクターを使用する

## システム設定メニュー

ホーム画面で、システム設定メニュー「」を選択し、さまざまなシステム設定を構成してください。

### 一般的なメニューのナビゲーション



1. システム設定メニューが表示されたら、上および下のナビゲーションキーを使って、メインメニューの任意の項目を選択してください。特定ページで選択している間に、リモコンの「OK」または「右」ボタンを押して、サブメニューに入ってください。
2. 「左」および「右」ボタンを押して、目的のメニュー項目を選択してください。次に、「OK」を押して、サブメニューを開いてください。
3. 「上」および「下」ボタンを押して、サブメニューで、目的の項目を選択してください。
4. 「OK」または「右」ボタンを押して、選択したサブメニュー項目設定にアクセスしてください。
5. 「上」、「下」、「左」、「右」ボタンを押して、設定を選択するか、「左」および「右」ボタンを押して、値を調整してください (必要に応じて)。
6. 「OK」を押して、設定を確認してください。
7. サブメニューから次に調整する目を選択し、上記手順と同様に変更してください。
8. 終了するには、「」を押してください (必要に応じて、繰り返してください)。設定メニューが終了し、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。

# プロジェクターを使用する

## システム設定メニューツリー

レベル 1	レベル 2	レベル 3	レベル 4	値
パーソナライズ	壁紙	Optoma スタイル…		
	ホームショートカット	ショートカット1		
		ショートカット2		
		ショートカット3		
		ショートカット4		
		ショートカット5		
システム	アプリ	Optoma Management Suite		
		File Manager		
		Optoma Marketplace		
		Creative Cast Pro		
		ライトニング		
	キーボード	現在のキーボード		
		キーボードの管理	谷哥拼音输入法 Kika キーボード	オフ オン
	日付および時刻	タイムゾーン		
		24 時間形式を使用	オン オフ [デフォルト]	
	システム更新			
	内部ストレージ			
	法的			
コントロール	ワイヤレス	Wi-Fi	オン [デフォルト] オフ	
		利用可能なネットワーク SSID (Wi-Fi がオンであるとき)		
		新しいネットワークを追加		
		ポータブルホットスポット	ポータブルWi-Fiホットスポット	
	イーサネット	プロキシ設定		
		IP 設定		
		リセット		
OMS				

**注記:** 機能は、モデル定義により異なります。

# プロジェクターを使用する

## メニューのパーソナライズ



### ホームショートカット

各入力ソースで、開いたすべてのアプリのホーム画面のショートカットを確認してください。「自動」オプションの場合を除き、項目を繰り返すことはできません。つまり、システムは、開かれた最新の最大 6 つのアプリを記憶し、アプリのショートカットを置き換え、アプリリストの中で、最後のアプリが最初のアプリになり、リスト内の他のアプリが1つの位置にシフトすることを意味します。

# プロジェクターを使用する

## システムメニュー



### アプリ

起動するプレインストールアプリを選択します。

### キーボード

キーボード設定を行います。

- **現在のキーボード:** システムが現在使用している仮想キーボードを示します。
- **キーボードの管理:** 入力方式アプリのオン/オフを切り替えます。アプリをオンにすると、開いている入力方式アプリが「現在のキーボード」選択リストに表示されます。

### 日付および時刻

日時設定を構成してください。

- **タイムゾーン:** タイムゾーンを選択してください。
- **24 時間形式を使用:** 24 時間フォーマットで時刻を表示する場合は、「オン」に設定してください。12 時間フォーマット (AM/PM) で時刻を表示する場合は、「オフ」に設定してください。

### システム更新

画面の指示に従って、プロジェクターのファームウェアを更新します。

### 内部ストレージ

残りの内部ストレージの空き容量を表示します。

# プロジェクターを使用する

## 法的

「利用規約」、「プライバシー ポリシー」、「クッキーに関するポリシー」を含む法的文書を確認してください。

**注記:** オンラインでも法的文書を確認できます。次の Web アドレスを参照してください:

- 利用規約: <https://www.optoma.com/terms-conditions/>。
- クッキーに関するポリシー: <https://www.optoma.com/cookies-policy/>。
- プライバシー ポリシー: <https://www.optoma.com/software-privacy-policy/>。
- オープンソースライセンス

# プロジェクターを使用する

## コントロールメニュー



### ワイヤレス

ワイヤレスネットワーク設定を構成します。

- **Wi-Fi:** Wi-Fi オプションを「オン」に設定して、ワイヤレスネットワーク機能を無効にします。
- **利用可能なネットワーク SSID:** 目的のワイヤレスアクセスポイントを選択し、例えば、パスワード、プロキシ設定、IP アドレスなどの必要な接続パラメータを入力または構成してください (必要に応じて)。情報について、信号強度を確認できます。  
設定を保存せず、ネットワークメニューに戻るには、「キャンセル」を選択してください。ワイヤレスネットワークプロファイルを削除するには、「消去」を選択してください。  
**注記:** 記号の入力が必要な場合、システムは、オンスクリーンキーボードを自動的にポップアップ表示します。
- **新しいネットワークを追加:** ネットワーク名を手動で入力します。
- **ポータブルホットスポット:** 他のデバイスのワイヤレスアクセスポイントとして動作するようにプロジェクターを構成します。

### イーサネット

有線ネットワーク設定を構成します。

**注記:** 必ず、プロジェクターをローカルエリアネットワーク (LAN) に接続してください。16 ページを参照してください。

- **プロキシ設定:** 必要に応じて、プロキシホスト名、接続ポート、バイパスプロキシドメイン情報を手動で入力してください。
- **IP 設定:** プロジェクターにネットワークから、IP アドレスやその他の接続パラメータを取得させる場合は、DHCP を有効にしてください。IP アドレス、ゲートウェイ、ネットワークプレフィックス長、DNS パラメータを手動で割り当てる場合は、DHCP を無効にしてください。
- **リセット:** ネットワーク設定を工場出荷時デフォルト設定に戻します。

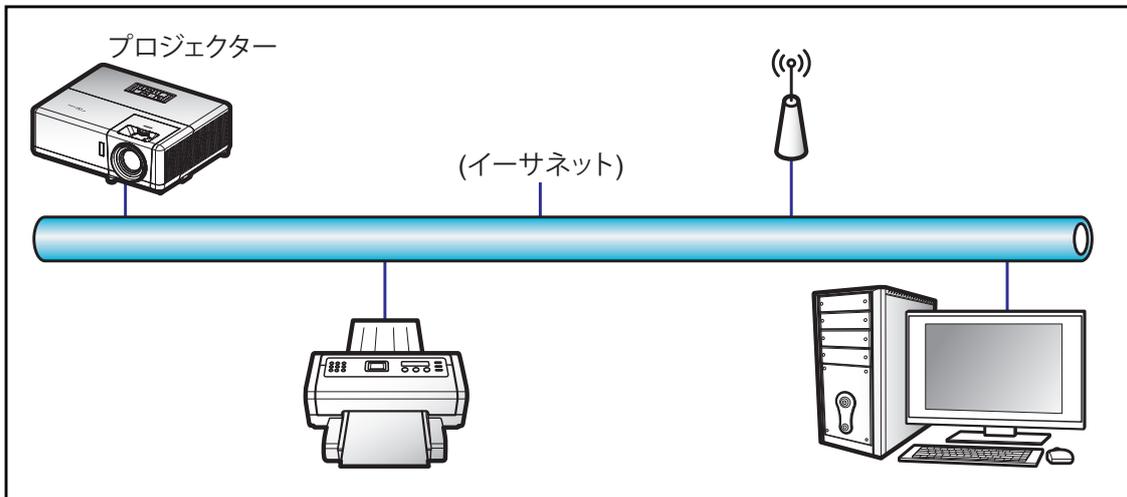
### OMS

このソフトウェアを使用して、緊急メッセージのブロードキャスト、リアルタイムの監視とアラート、デバイスのオン/オフ時間のスケジュールなど、デバイスをリモートで管理します。

# プロジェクターを使用する

## LAN/RJ45 機能

操作を簡単にするために、プロジェクターは多様なネットワーク機能とリモート管理機能を備えています。LAN / RJ45 は、ネットワーク機能を使用してリモート管理を支援します。電源のオン/オフ、明るさ設定、コントラスト設定などをリモート管理できます。ビデオソース、サウンドミュートなど、プロジェクターのステータス情報も表示できます。



## 有線 LAN 端末機能

このプロジェクターは PC (ラップトップ) またはその他の外部デバイスを利用し、LAN/RJ45 ポートと互換性のある Crestron / Extron / AMX (デバイス検出) / PJLink を介して制御できます。

- Crestron は米国の Crestron Electronics, Inc. の登録商標です。
- Extron は米国の Extron Electronics, Inc. の登録商標です。
- AMX は米国の AMX LLC の登録商標です。
- PJLink は JBMA を通して日本、米国、その他の国で商標とロゴの登録を申請しました。

このプロジェクターは Crestron Electronics コントローラーと関連ソフトウェア、たとえば、RoomView® の指定のコマンドに対応しています。

<http://www.crestron.com/>

このプロジェクターは Extron デバイスに対応しているのでご参照ください。

<http://www.extron.com/>

このプロジェクターは AMX (デバイス検出) に対応しています。

<http://www.amx.com/>

このプロジェクターは PJLink Class2 の全コマンドに対応しています。

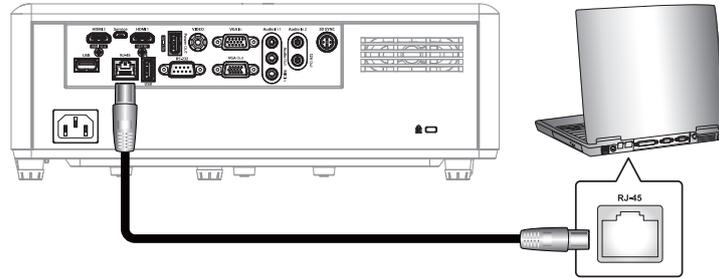
<http://pjlink.jbma.or.jp/english/>

LAN/RJ45 ポートに接続し、プロジェクターをリモート操作できる各種外部デバイスとそれらの外部デバイスの対応コマンドに関する詳細については、サポートサービスに直接お問い合わせください。

# プロジェクターを使用する

## イーサネット (プロジェクター設定)

1. プロジェクターの電源を入れます。
2. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



3. 画面の指示に従って、ネットワーク設定を構成します。  
(プロジェクターのホーム画面 > 設定 > コントロール > イーサネット > IP 設定 > 静的)

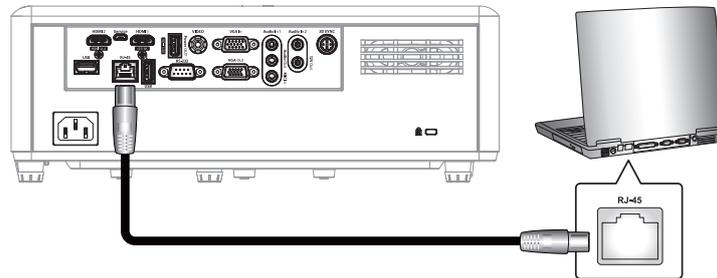


**注記:** ネットワーク構成が完了すると、ステータスは「接続済み」と表示されます。

# プロジェクターを使用する

## PC 設定

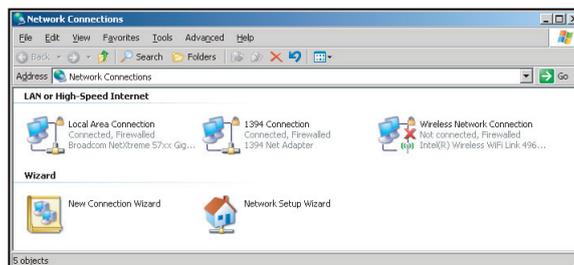
1. プロジェクターと PC (ラップトップ) の RJ45 ポートに RJ45 ケーブルを接続します。



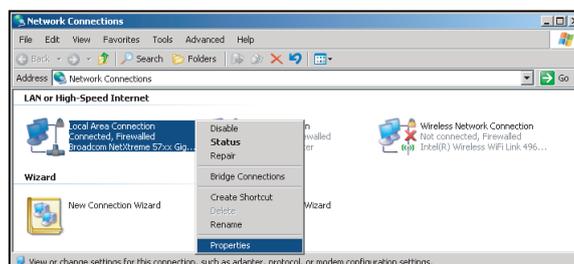
2. PC (ラップトップ) で、スタート > コントロールパネル > ネットワーク接続 の順に選択します。



3. ローカルエリア接続 を右クリックし、プロパティ を選択します。

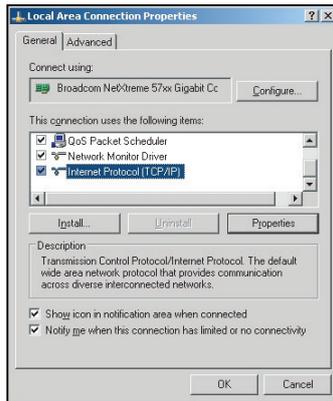


4. プロパティ ウィンドウで、全般 タブを選択し、インターネットプロトコル (TCP/IP) を選択します。

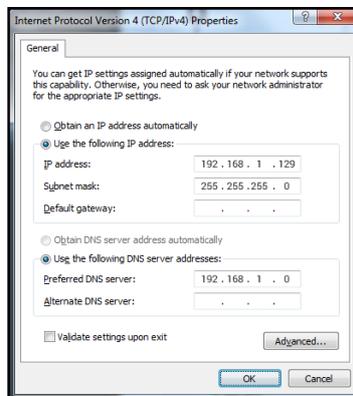


# プロジェクターを使用する

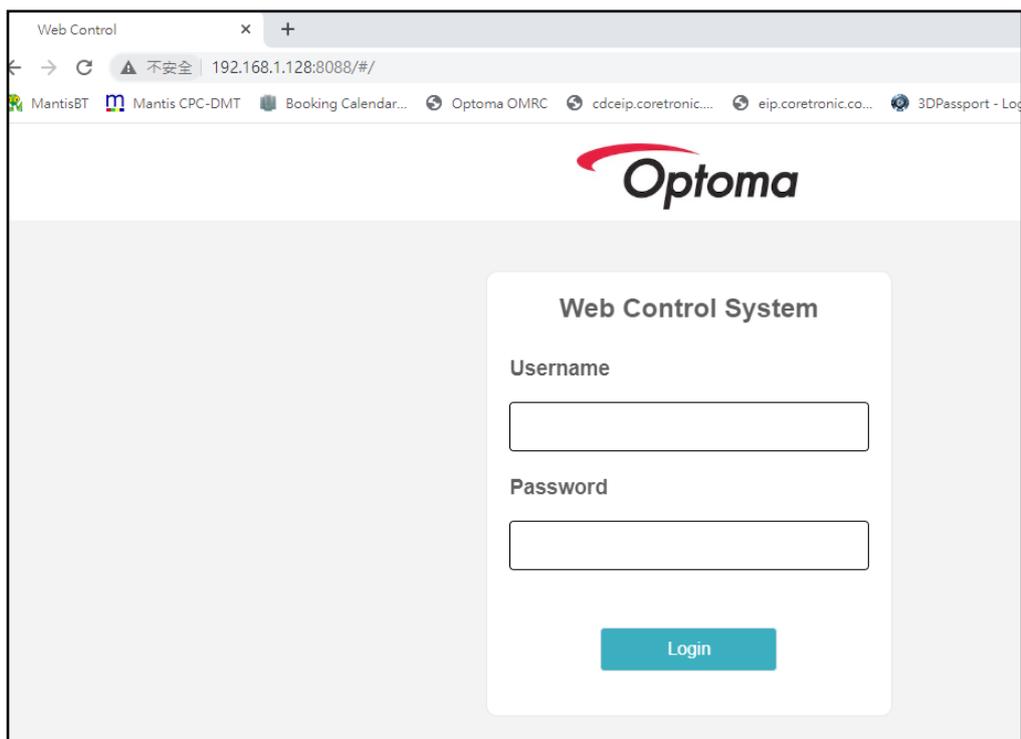
5. [プロパティ] をクリックします。



6. IP アドレスとサブネットマスクを入力し、[OK] を押します。



7. Microsoft Edge や Google Chrome などの Web ブラウザーを開きます。
8. アドレスバーに、プロジェクターの IP アドレスを入力します。192.168.1.128 : 8088。
9. [Enter] を押します。  
このプロジェクターはリモート管理できます。LAN/RJ45 機能に次のように表示されます。



# プロジェクターを使用する

## ネットワーク制御のためのログインと設定

1. Web ブラウザーからプロジェクターにログインします (例: 192.168.1.128 : 8088 で「Enter」を押します)。
  - ユーザー名: admin
  - パスワード: admin

**注記:** 初めてログインするときは、パスワードを変更する必要があります。

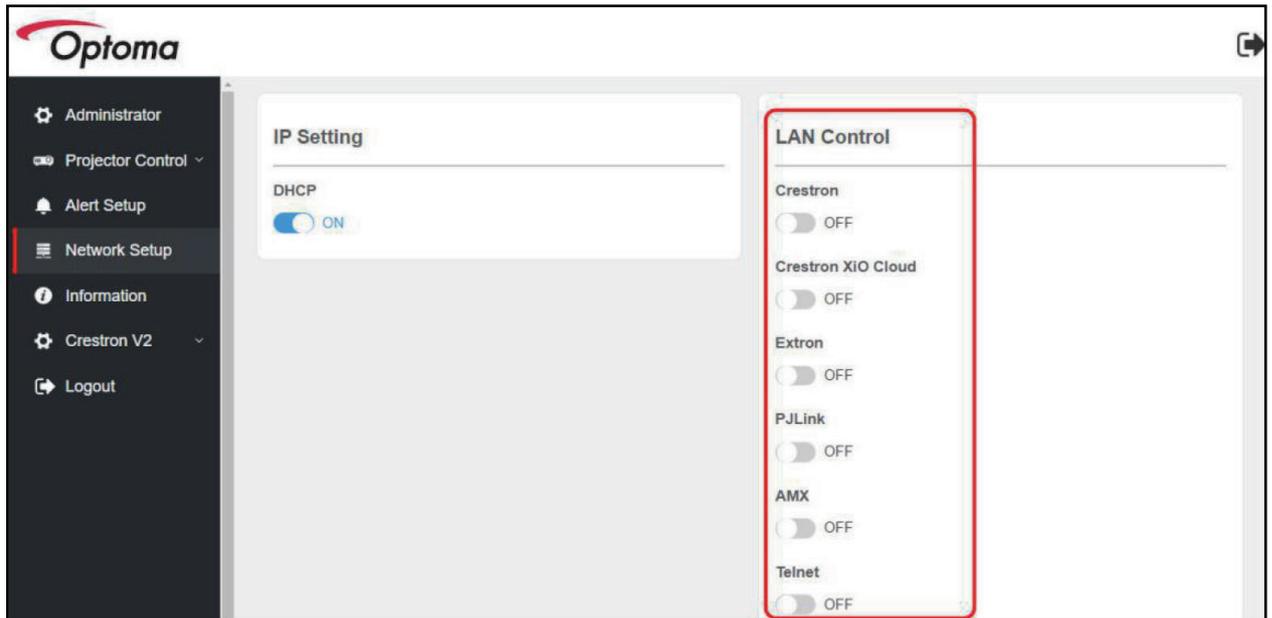
The screenshot shows the Optoma web interface. On the left is a dark sidebar menu with the following items: Administrator, Projector Control, Alert Setup, Network Setup, Information, Crestron V2, and Logout. The main content area is divided into two panels. The left panel is titled 'Projector Information' and contains two input fields: 'Projector Name' with the value 'DAZHUZT+' and 'Projector ID' with the value '0'. Below these fields is a blue 'Save' button. The right panel is titled 'Change Password' and contains three input fields: 'Old Password', 'New Password', and 'Confirm New Password', each with a placeholder 'please input...'. Below these fields is a blue 'Save' button.

2. [全般] をクリックします。次に、[電力設定] で、[電力モード] 設定を [アクティブ] に設定します。

The screenshot shows the Optoma web interface with the 'General' menu item selected in the sidebar. The main content area is divided into three panels. The left panel is titled 'General Control' and contains several settings: 'Power' with a toggle switch set to 'ON', 'Resync' with a blue 'Resync' button, 'Reset OSD' with a blue 'Reset' button, 'AV Mute' with a toggle switch set to 'OFF', 'Freeze' with a toggle switch set to 'OFF', and 'High Altitude' with a toggle switch set to 'OFF'. The middle panel is titled 'Volume Setting' and contains 'Mute' with a toggle switch set to 'OFF' and 'Volume' with a slider set to 5. The right panel is titled 'Power Setting' and contains 'Power Mode' with a dropdown menu set to 'Active' (highlighted with a red box) and 'Brightness Mode' with a dropdown menu set to 'Constant Power 100%'.

# プロジェクターを使用する

3. [ネットワーク設定] をクリックして、作業したい機能ボタンをオンにします。



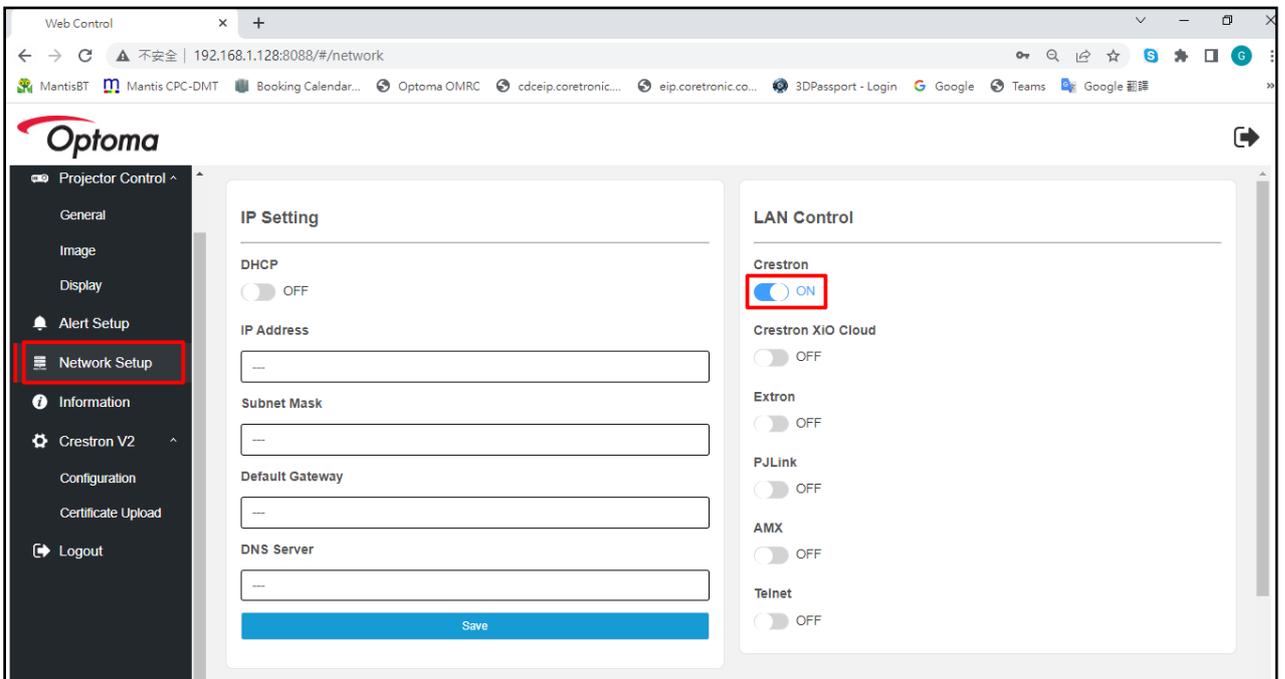
## 注記:

クレストロン	ポート: 41794
PJリンク	ポート: 4352
AMX	ポート: 9131
Telnet	ポート: 23
<a href="#">Web ページ コントロール</a>	ポート: <b>8088</b>
Optoma Web サーバー	ポート: 8080
Creative Cast アプリ	ポート: 80
エクストロン	ポート: 2023

# プロジェクターを使用する

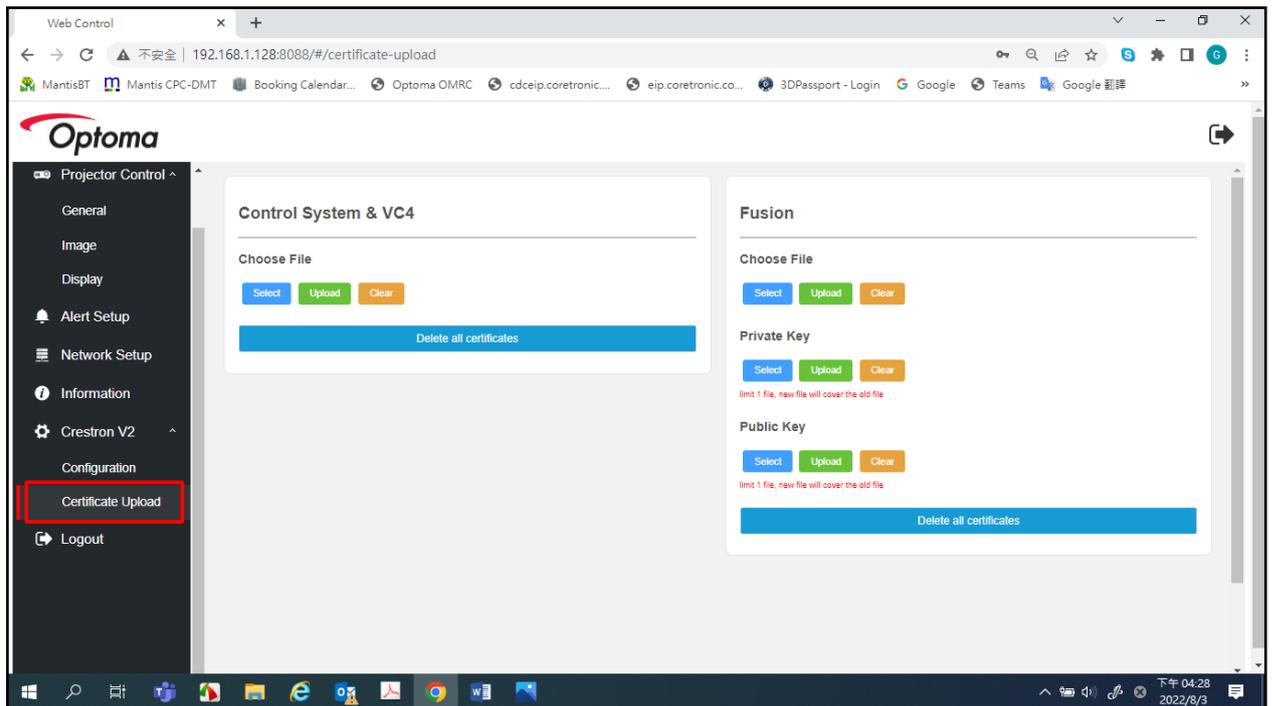
## クレストロン

1. プロジェクターの「コントロール」設定またはブラウザ LAN コントロールの Web ページで、**Crestron** 機能を**オン**に切り替えます。

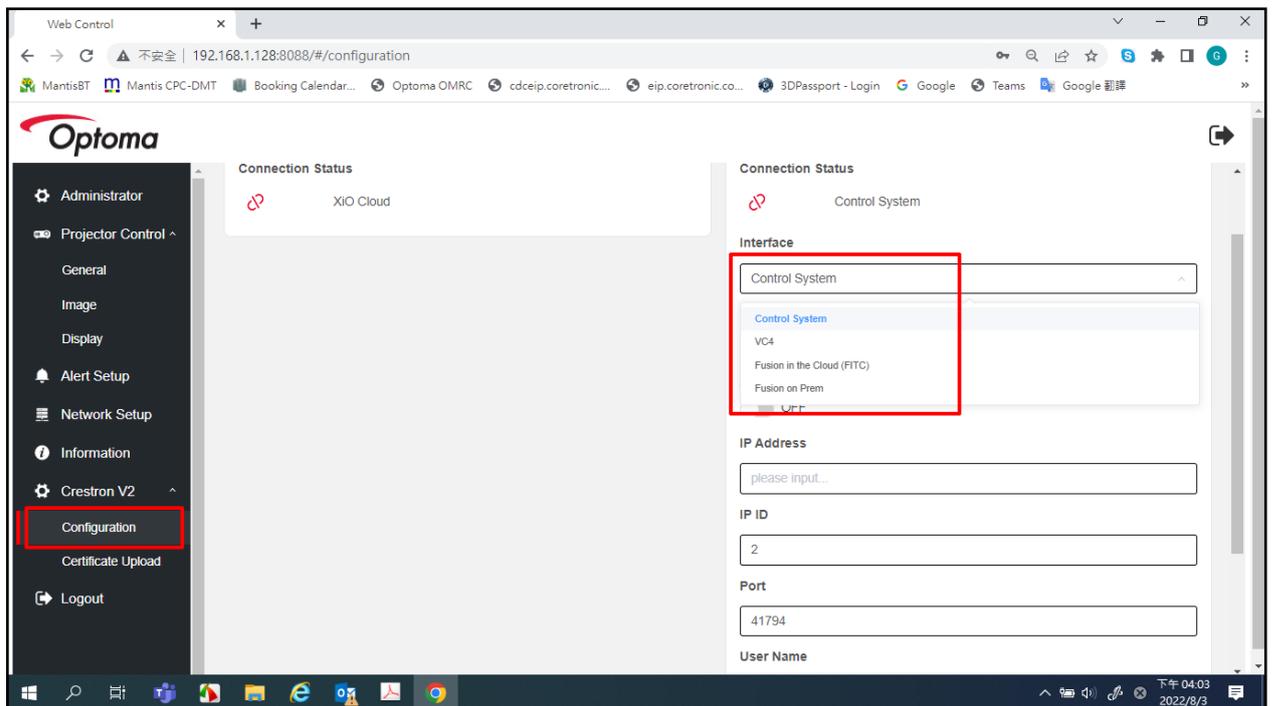


# プロジェクターを使用する

2. 「Crestron 証明書のアップロード」ページに切り替えて、証明書をアップロードします。



3. 目的の Crestron の機能を選択し、必要な設定を構成します。



# プロジェクトターを使用する

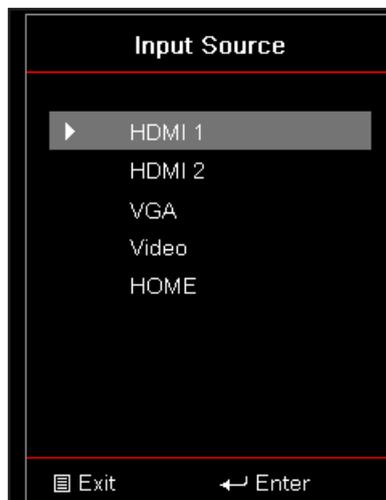
## 入力ソースを選択する

入力ショートカットを使用して、ホーム画面上で直接入力ソースを選択できます。

**注記:** 「システム設定メニュー→パーソナライズ→ホームショートカット」でショートカット設定をパーソナライズできます。また、ホーム画面上のショートカットの順序を変更できます。



希望の入力ソースが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべての入力オプションを表示してください。次に、入力ソースを選択するか、「ホーム」を選択して、ホーム画面に戻ってください。



# プロジェクトターを使用する

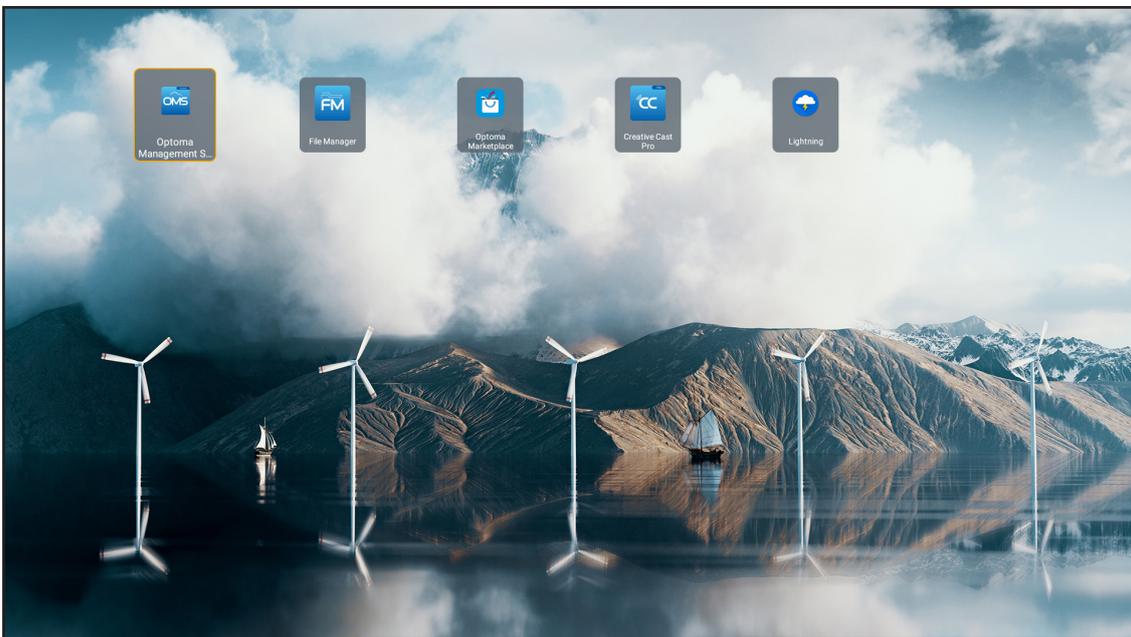
## アプリの選択

アプリショートカットを使用して、ホーム画面上で直接アプリを選択できます。

**注記:** 「システム設定メニュー→パーソナライズ→ホームショートカット」でショートカット設定をパーソナライズできます。



希望のアプリが、ホーム画面上に表示されない場合は、「」を選択して、すべてのインストール済アプリを表示してください。次に、希望のアプリを選択してください。



# プロジェクターを使用する

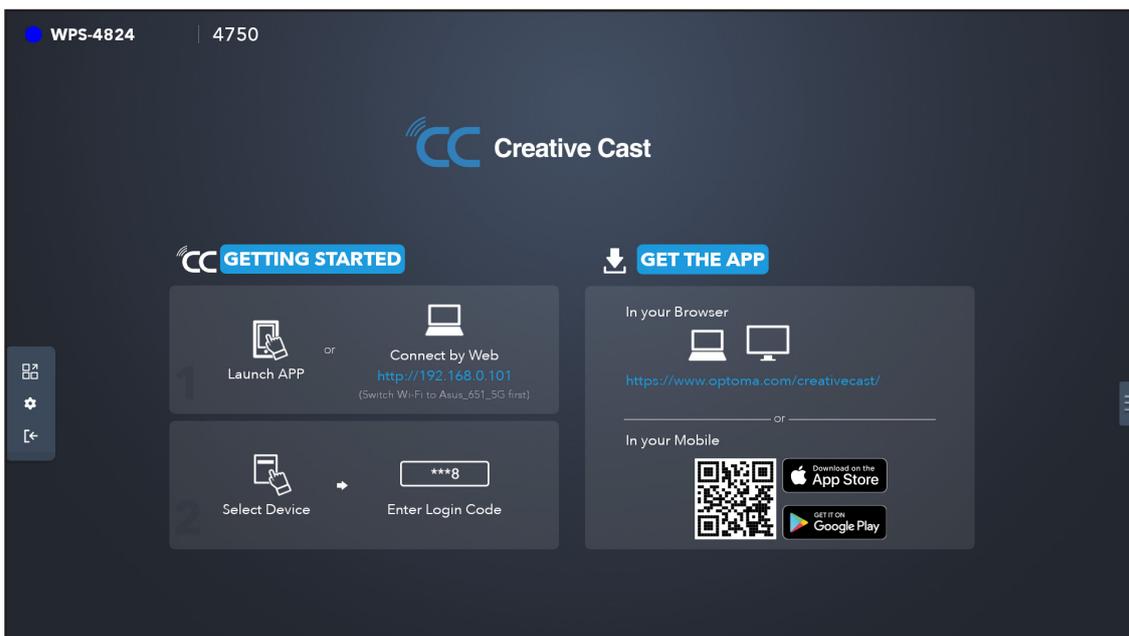
## Creative Cast

アプリを入手するには、次のいずれかを実行してください：

- モバイルデバイスを使用している場合は、画面上の QR コードをスキャンしてください。
- コンピューターを使用している場合は、リンクにアクセスしてください。

次に、Creative Cast アプリをコンピューターまたはモバイルデバイスにインストールしてください。

開始する前に、コンピューターまたはモバイルデバイスをプロジェクターと同じネットワークに接続してください。次に、画面の指示に従ってアプリを操作してください。

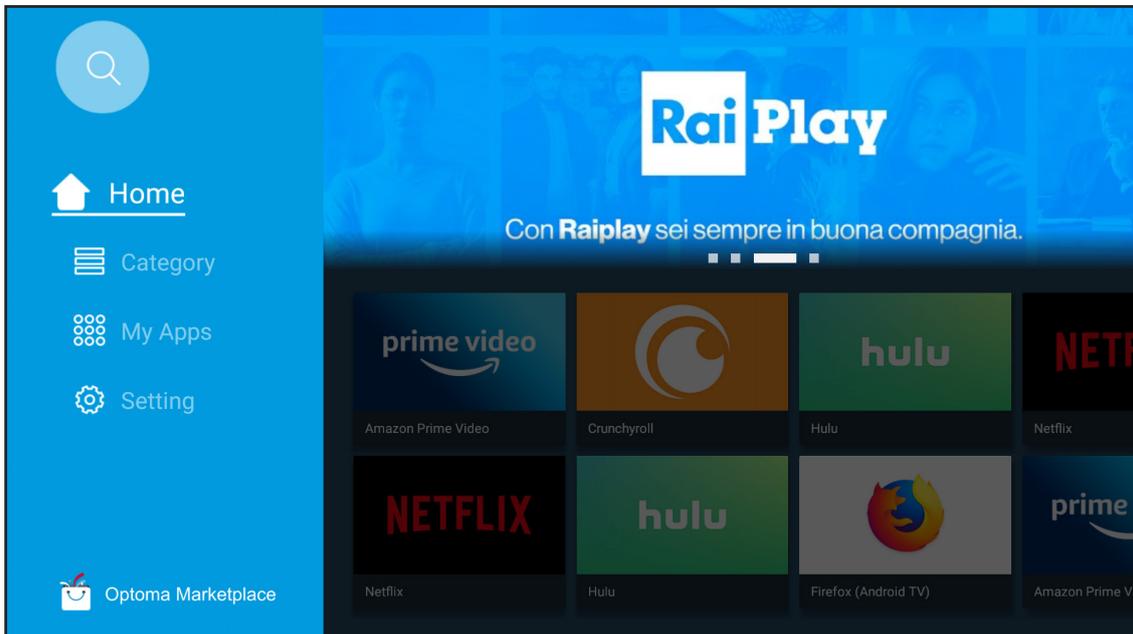


**注記:** iOS 画面ミラーリング機能を最初にアクティブ化するには、プロジェクターがインターネットに接続されていることを確認してから、Creative Cast アプリを起動してください。この初期手順を実行する必要があるのは 1 回だけです。初期接続が確立された後は、iOS 画面ミラーリング機能を後で使用するために Creative Cast アプリを開く必要はありません。

# プロジェクトターを使用する

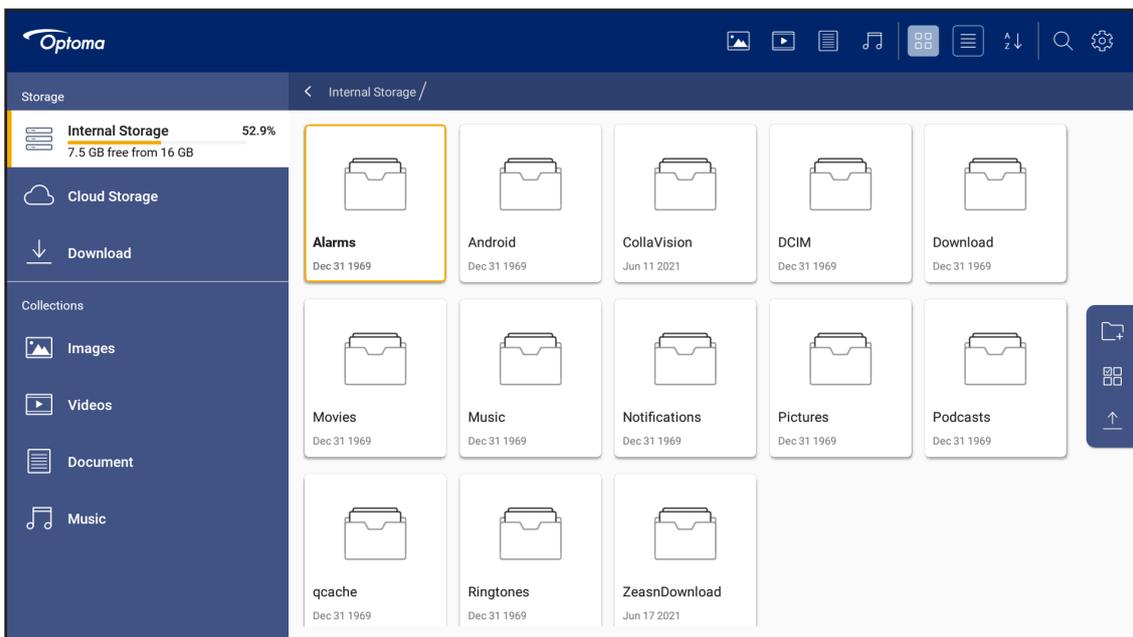
## Optoma Marketplace

Optoma Marketplace アプリを使用すると、任意のアプリを検索してインストールできます。



## File Manager

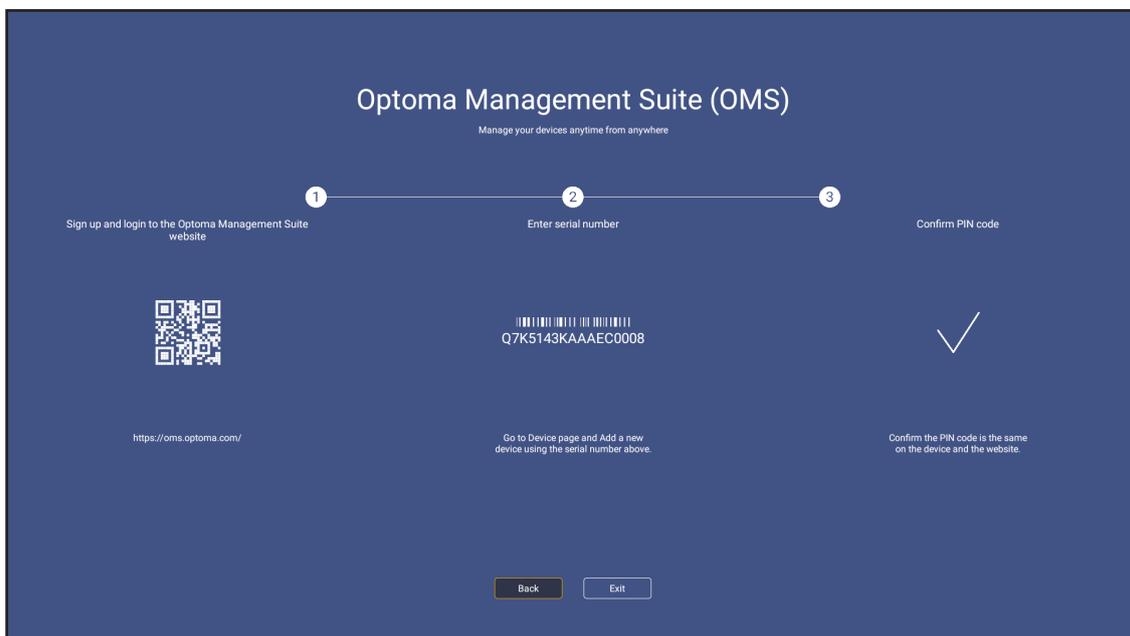
File Manager アプリを使用すると、内部ストレージ、外部ストレージ、クラウドストレージに保存されているファイルを管理することができます。



# プロジェクターを使用する

## Optoma Management Suite (OMS)

画面の指示に従ってセットアップし、使用してください。



# プロジェクターを使用する

## サポートするマルチメディア形式

マルチメディアファイルを再生する場合は、マルチメディアコンテンツを含む USB ストレージをプロジェクターに接続してください。次に、マルチメディアプレーヤーアプリを開き、再生する希望のファイルを選択してください。

プロジェクターは、次のマルチメディア形式をサポートします：

### オーディオ形式

デコーダー	サポートされている形式
MPEG	MP1、MP2、MP3
OGG	OGG、OGA
FLAC	FLACC
AAC	AAC、M4A

### ビデオフォーマット

デコーダー	サポートされている形式
MPEG-1/2	DAT、MPG、VOB、TS
H.264/AVC	AVI、MKV、MP4、MOV、3GP、TS、FLV
Motion JPEG	AVI

### 写真フォーマット

デコーダー	サポートされている形式
JPEG	JPG、JPEG
BMP	BMP
GIF	GIF
PNG	PNG
WEBP	WEBP

### Office Viewer

文書フォーマット	サポートされているバージョンと形式
PDF	PDF 1.7 以上 (*.pdf)
Writer (Word)	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 文書 (*.doc)
	Microsoft Word 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.dot)
	Microsoft Word 2007/2010 文書 (*.docx)
	Microsoft Word 2007/2010 テンプレート (*.dotx)
	テキストファイル (*.txt, *.log)
スプレッドシート (Excel)	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 ワークブック (*.xls)
	Microsoft Excel 2007/2010 ワークブック (*.xlsx)
	テキストファイル (*.csv)
	Microsoft Excel 97/2000/XP/2003 テンプレート (*.xlt)
	Microsoft Excel 2007/2010 テンプレート (*.xltx)
プレゼンテーション (PowerPoint)	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーション (*.ppt, *.pps)
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーション (*.pptx, *.ppsx)
	Microsoft PowerPoint 97/2000/XP/2003 プレゼンテーションテンプレート (*.pot)
	Microsoft PowerPoint 2007/2010 プレゼンテーションテンプレート (*.potx)

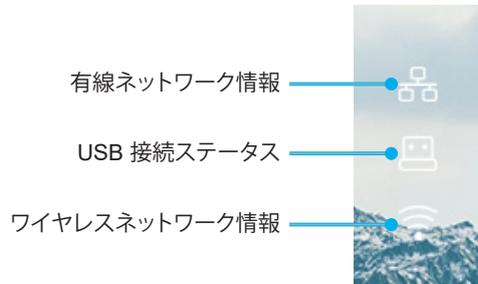
### USB サポートフォーマット

FAT32
NTFS
exFAT

# プロジェクターを使用する

## ステータスバーの表示

デフォルトでは、ホーム画面のステータスバーには、有線ネットワーク、USB、ワイヤレスネットワークに関する接続ステータスを示すアイコンが含まれています。アイコンを選択して、関連するメニューを開くことができます。有線またはワイヤレスステータスアイコンを選択すると、ネットワーク構成メニューが開きます。また、USB ステータスアイコンを選択すると、ブラウザが開き、接続される USB デバイスの内容が表示されます。



# 追加情報

## 対応解像度

NTSC	NTSC M/J、3.58MHz、4.43MHz
PAL	PAL B/D/G/H/I/M/N、4.43MHz
SECAM	SECAM B/D/G/K/K1/L、4.25/4.4 MHz
SDTV	480i/p、576i/p
HDTV	720p (50/60Hz)、1080i (50/60Hz)、1080P (50/60Hz)

## ビデオタイミング

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	注記
TV (NTSC)	720 X 480	60	コンポジットビデオ/S ビデオの場合
TV (PAL、SECAM)	720 X 576	50	
SDTV(480I)	720 X 480	60	コンポーネントの場合
SDTV(480P)	720 X 480	60	
SDTV(576I)	720 X 576	50	
SDTV(576P)	720 X 576	50	
HDTV(720p)	1280 X 720	50/60	
HDTV(1080I)	1920 X1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 X1080	24/50/60	

## True 3D ビデオ互換性

入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	入力タイミング		
入力解像度	HDMI 1.4a 3D 入力	1280 x 720P @ 50Hz	最上部から底部まで	
		1280 x 720P @ 60Hz	最上部から底部まで	
		1280 x 720P @ 50Hz	フレームパッキング	
		1280 x 720P @ 60Hz	フレームパッキング	
		1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920 x 1080i @ 60Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	
		1920 x 1080P @ 24Hz	最上部から底部まで	
		1920 x 1080P @ 24Hz	フレームパッキング	
	HDMI 1.3	1920 x 1080i @ 50Hz	サイドバイサイド(ハーフ)	TAB モードがオン
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		800 x 600 @ 60Hz		
		1024 x 768 @ 60Hz		
		1280 x 800 @ 60Hz		
		1920 x 1080i @ 50Hz	最上部から底部まで	
		1920 x 1080i @ 60Hz		
		1280 x 720P @ 50Hz		
		1280 x 720P @ 60Hz		
		800 x 600 @ 60Hz		
1024 x 768 @ 60Hz				
1280 x 800 @ 60Hz	HQFS	3D映像フォーマットがフレームシーケンシャル		
480i				

### 注記:

- 3D 入力が 1080p@24Hz である場合、DMD を 3D モードの整数倍で再生する必要があります。
- Optoma から特許料がない場合、NVIDIA 3DTV Play をサポートします。

## 追加情報

- 1080i@25Hz および 720p@50Hz は 100Hz で動作します。1080p@24Hz は 144Hz で動作し、その他の 3D タイミングは 120Hz で動作します。

### コンピューターの互換性

VESA 規格コンピューター信号 (アナログ RGB 互換)

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	注記
VGA	640 X 480	60/67/72/85	Mac 60/72/85
SVGA	800 X 600	56/60(*2)/72/85/120(*2)	Mac 60/72/85
XGA	1024 X768	48/50(*4)/60(*2)/70/75/85/120(*2)	Mac 60/70/75/85
HDTV(720P)	1280 X 720	50/60(*2)/120(*2)	Mac 60
WXGA	1280 X768	60/75/85	Mac 60/75/85
	1280 X800	48/50(*4)60	Mac 60
WXGA(*3)	1366 X768	60	
SXGA	1280 X1024	60/75/85	Mac 60/75
SXGA+	1400 X1050	60	
UXGA	1600 X 1200	60	
HDTV(1080p)	1920 X1080	24/50/60	Mac 60
WUXGA	1920 X1200(*1)	60/50Hz(*4)	Mac 60

#### 注記:

- (\*1) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデュースドブランキング) のみをサポートします。
- (\*2) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミングをサポートします。
- (\*3) Windows 8 標準タイミング。
- (\*4) Proscene および Data Projector > 4,000L のみ、ネイティブ解像度は @50Hz をサポートする必要があります。

### HDMI/DVI-D の入力信号

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	注記
VGA	640 X 480	60	Mac 60/72/85
SVGA	800 X 600	60(*2)/72/85/120(*2)	Mac 60/72/85
XGA	1024 X768	48/50(*4)/60(*2)/70/75/85/120(*2)	Mac 60/70/75/85
SDTV(480I)	720 X 480	60	
SDTV(480P)	720 X 480	60	
SDTV(576I)	720 X 576	50	
SDTV(576P)	720 X 576	50	
WSVGA(1024X600)	1024 X 600	60 (*3)	
HDTV(720p)	1280 X 720	50(*2)/60/120(*2)	Mac 60
WXGA	1280 X768	60/75/85	Mac 75
	1280 X800	60/50/48Hz(*4)	Mac 60
WXGA(*5)	1366X768	60	
SXGA	1280 X1024	60/75/85	Mac 60/75
	1440 x 900	60	
SXGA+	1400 X1050	60	
UXGA	1600 X 1200	60	
HDTV(1080I)	1920 X1080	50/60	
HDTV(1080p)	1920 X1080	24/30/50/60	Mac 60

# 追加情報

信号	解像度	リフレッシュレート (Hz)	注記
WUXGA	1920 X1200(*1)	60/50(*4)	Mac 60

## 注記:

- (\*1) 1920 x 1200 @ 60HzはRB (レデューズドブランキング) のみをサポートします。
- (\*2) 3D Ready プロジェクター (STD) および True 3D プロジェクター (オプション) の 3D タイミングをサポートします。
- (\*3) 新しい ERA & Data プロジェクターは、このタイミングの WSVGA を備えている必要があります。Proscene と Home は便利です。
- (\*4) Proscene および Data Projector > 4,000L のみ、ネイティブ解像度は @50Hz/48Hz をサポートする必要があります。
- (\*5) Windows 8 標準タイミング。

## HDMI 1.4

B0/確立タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
720x400	70.0	31.5
640x480	60.0	31.5
640x480	66.6(67)	34.9
640x480	72.0	37.9
640x480	75.0	37.5
800x600	56.0	35.1
800x600	60.0	37.9
800x600	72.0	48.1
800x600	75.0	46.9
832x624	75.0	49.1
1024x768	60.0	48.4
1024x768	70.0	56.5
1024x768	75.0	60.0
1280x1024	75.0	80.0
1152x870	75.0	68.7

B0/標準タイミング (1080P/WUXGA)			
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	アスペクト比
1280x720	60.0	-	16:09
1280x800	60.0	-	16:10
1280x1024	60.0	-	05:04
640x480	120.0	-	04:03
800x600	120.0	-	04:03
1024x768	120.0	-	04:03
1280x800	120.0	-	16:10
1920x1200	60.00	-	16:10

B0/詳細タイミング (1080P)		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
1920x1080	60.0	37.9

# 追加情報

B1/ビデオモード		
VIC	解像度	垂直 [Hz]
1	640x480p 4:3	60.0
2	720x480p 4:3	60.0
3	720x480p 16:9	60.0
4	1280x720p 16:9	60.0
5	1920x1080i 16:9	60.0
6	720(1440)x480i 4:3	60.0
7	720(1440)x480i 16:9	60.0
16	1920x1080p 16:9	60.0
17	720x576p 4:3	50.0
18	720x576p 16:9	50.0
19	1280x720p 16:9	50.0
20	1920x1080i 16:9	50.0
21	720(1440)x576i 4:3	50.0
22	720(1440)x576i 16:9	50.0
31	1920x1080p 16:9	50.0
32	1920x1080p 16:9	24.0
34	1920x1080p 16:9	30.0
93	3840 x 2160p 16:9	24.00
94	3840 x 2160p 16:9	25.00
95	3840 x 2160p 16:9	30.00
98	4096 x 2160p 256:135	24.00
99	4096 x 2160p 256:135	25.00
100	4096 x 2160p 256:135	30.00

B1/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]
1920 x 1080	60.00
1366 x 768	60.00
1920 x 1200	60.00

## HDMI 2.0

B0/確立タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
720x400	70.0	31.5
640x480	60.0	31.5
640x480	66.6(67)	34.9
640x480	72.0	37.9
640x480	75.0	37.5
800x600	56.0	35.1
800x600	60.0	37.9
800x600	72.0	48.1
800x600	75.0	46.9
832x624	75.0	49.1
1024x768	60.0	48.4
1024x768	70.0	56.5
1024x768	75.0	60.0

# 追加情報

B0/確立タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
1280x1024	75.0	80.0
1152x870	75.0	68.7

B0/標準タイミング (1080P)			
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	アスペクト比
1280x720	60.0	-	16:09
1280x800	60.0	-	16:10
1280x1024	60.0	-	05:04
640x480	120.0	-	04:03
800x600	120.0	-	04:03
1024x768	120.0	-	04:03
1280x800	120.0	-	16:10
1920x1200	60.00	-	16:10

B0/詳細タイミング (1080P)		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
1920x1080	60.0	67.5

B1/ビデオモード		
VIC	解像度	垂直 [Hz]
1	640x480p 4:3	60.0
2	720x480p 4:3	60.0
3	720x480p 16:9	60.0
4	1280x720p 16:9	60.0
5	1920x1080i 16:9	60.0
6	720(1440)x480i 4:3	60.0
7	720(1440)x480i 16:9	60.0
16	1920x1080p 16:9	60.0
17	720x576p 4:3	50.0
18	720x576p 16:9	50.0
19	1280x720p 16:9	50.0
20	1920x1080i 16:9	50.0
21	720(1440)x576i 4:3	50.0
22	720(1440)x576i 16:9	50.0
31	1920x1080p 16:9	50.0
32	1920x1080p 16:9	24.0
34	1920x1080p 16:9	30.0
93	3840 x 2160p 16:9	24.00
94	3840 x 2160p 16:9	25.00
95	3840 x 2160p 16:9	30.00
96	3840 x 2160p 16:9	50.00
97	3840 x 2160p 16:9	60.00
98	4096 x 2160p 256:135	24.00
99	4096 x 2160p 256:135	25.00
100	4096 x 2160p 256:135	30.00
101	4096 x 2160p 256:135	50.00
102	4096 x 2160p 256:135	60.00

# 追加情報

B1/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]
1920 x 1080	60.00
1366 x 768	60.00

## アナログ

B0/確立タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
720x400	70.0	31.5
640x480	60.0	31.5
640x480	66.6(67)	34.9
640x480	72.0	37.9
640x480	75.0	37.5
800x600	56.0	35.1
800x600	60.0	37.9
800x600	72.0	48.1
800x600	75.0	46.9
832x624	75.0	49.1
1024x768	60.0	48.4
1024x768	70.0	56.5
1024x768	75.0	60.0
1280x1024	75.0	80.0
1152x870	75.0	68.7

B0/標準タイミング			
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]	アスペクト比
800x600	120.0	-	04:03
1024x768	120.0	-	04:03
1280x800	60.0	-	16:10
1280x1024	60.0	-	05:04
1280x720	60.0	-	16:09
640x480	120.0	-	04:03

B0/詳細タイミング		
解像度	垂直 [Hz]	水平 [Hz]
1920x1080	60.0	67.5

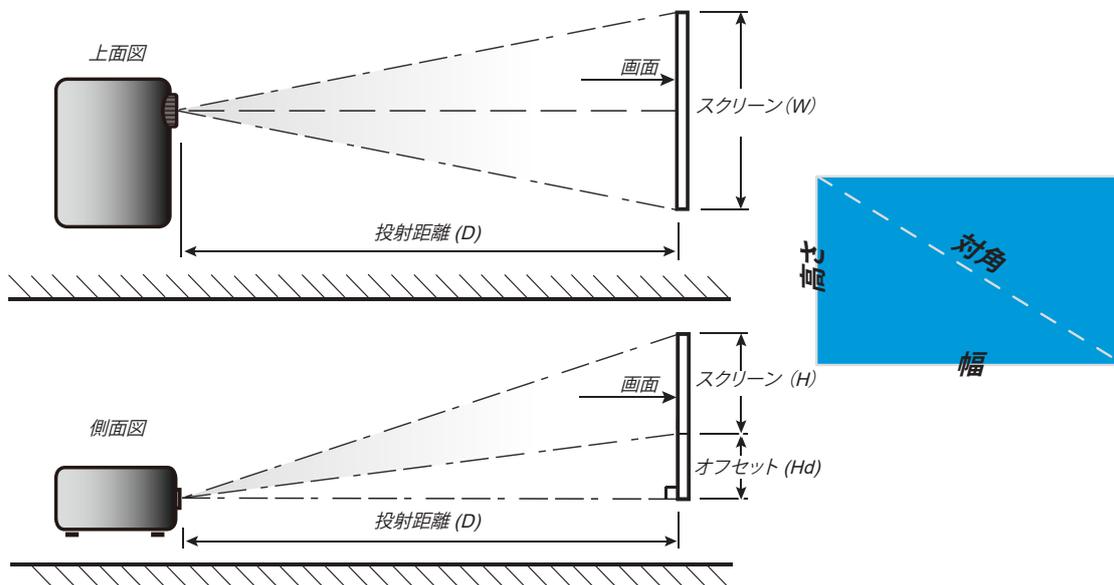
B1/詳細タイミング	
解像度	垂直 [Hz]
1366x768	60.0
1280x800	120.0
1920x1200	60.0

# 追加情報

## イメージサイズと投射距離

(16:9) 画面の対角長さサイズ	画面サイズ (幅 x 高さ)				投射距離 (D)				オフセット (Hd)		オフセット (Hd)	
	(m)		(インチ)		(m)		(フィート)		(m) 最大	(インチ) 最大	(m) 最小	(インチ) 最小
	幅	高さ	幅	高さ	広角	望遠	広角	望遠				
20.2	0.45	0.25	17.61	9.9	該当なし	1.0	該当なし	3.28	0.04	1.57	0.00	0.00
40	0.89	0.5	34.86	19.6	1.2	2.0	3.94	6.56	0.08	3.15	0.00	0.00
50	1.11	0.62	43.58	24.5	1.6	2.5	5.25	8.20	0.10	3.94	0.00	0.00
60	1.33	0.75	52.29	29.4	1.9	3.0	6.23	9.84	0.12	4.72	0.00	0.00
70	1.55	0.87	61.01	34.3	2.2	3.5	7.22	11.48	0.14	5.51	0.00	0.00
80	1.77	1	69.73	39.2	2.5	4.0	8.20	13.12	0.16	6.30	0.00	0.00
90	1.99	1.12	78.44	44.1	2.8	4.5	9.19	14.76	0.18	7.09	0.00	0.00
100	2.21	1.25	87.16	49	3.1	5.0	10.17	16.40	0.19	7.48	0.00	0.00
120	2.66	1.49	104.59	58.8	3.7	6.0	12.14	19.69	0.24	9.45	0.00	0.00
150	3.32	1.87	130.74	73.5	4.7	7.4	15.42	24.28	0.30	11.81	0.00	0.00
180	3.98	2.24	156.88	88.2	5.6	8.9	18.37	29.20	0.36	14.17	0.00	0.00
200	4.43	2.49	174.32	98.1	6.2	9.9	20.34	32.48	0.40	15.75	0.00	0.00
250	5.53	3.11	217.89	122.6	7.8	該当なし	25.59	該当なし	0.50	19.69	0.00	0.00
320.4	7.09	3.99	279.25	157.1	10.0	該当なし	32.81	該当なし	0.64	25.20	0.00	0.00

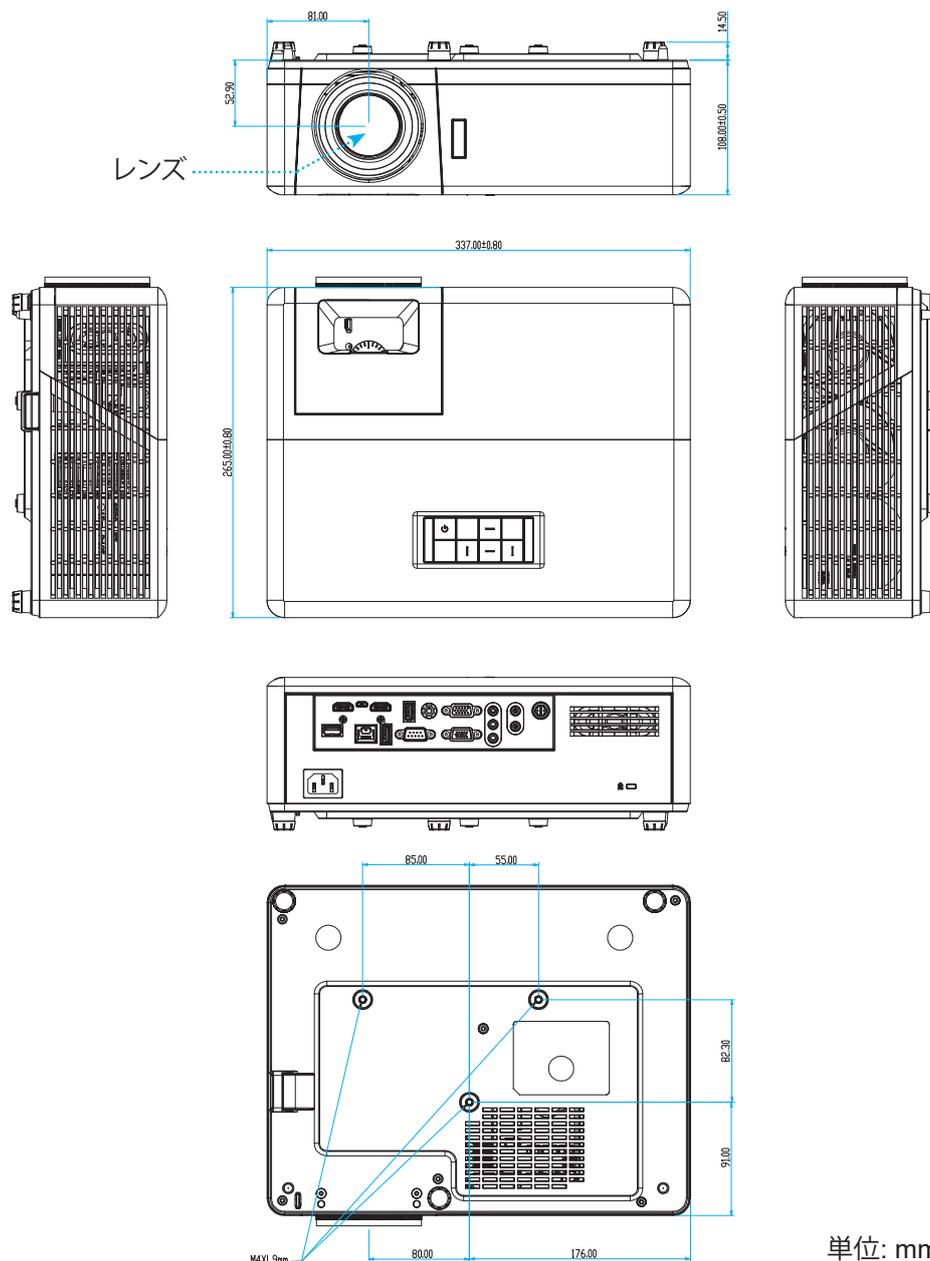
注記:ズーム比: 1.6x



# 追加情報

## プロジェクターの寸法と天井取り付け

1. プロジェクターの損傷を防ぐため、必ず、適切な Optoma の天吊り用パッケージを使用して取り付けてください。
2. 他社製の天吊りキットをご利用になる場合は、プロジェクターを取り付けるネジが以下の仕様に適合していることを必ず確認してください。
  - ネジの種類: M4\*0.7P\*10mm
  - 最小ネジ長: 10 mm



**注記:** プロジェクターを正しく取り付けしていないことが原因で発生した損傷に関しましては、保証は無効になります。予めご了承ください。



警告:

- 他社製の天吊りキットをお求めになる場合、必ずネジのサイズが正しいことをご確認ください。ネジのサイズは、天吊りプレートの厚みによって異なります。
- プロジェクターの底部と天井の間には、少なくとも 10 cm の隙間が開くようにします。
- プロジェクターは、熱源の近くに設置しないで下さい。

# 追加情報

## IR リモートコード



キー	キー番号	MTX.	フォー マット	データ0	データ1	データ2	データ3	説明	
電源オン/オフ	⏻	K12	04	F1	32	CD	71	8E	「プロジェクターの電源を入れる/切る」(22 ページ) を参照してください。
ソース	🔄	K3	11	F1	32	CD	18	E7	🔄 を押して、入力信号を選択します。
ホーム	🏠	K13	03	F1	32	CD	92	6D	🏠 を押して、ホーム画面に戻ります。
メニュー	☰	K8	17	F1	32	CD	0E	F1	☰ を押して、オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューを起動します。OSD を終了するには、もう一度 ☰ を押します。
戻る	↶	K4	10	F1	32	CD	86	79	↶ を押して、前ページに戻ります。
上	▲	K7	18	F2	32	CD	11	EE	▲▼◀▶ を使用して項目を選択するか、選択に合わせて調整を行います。
左	◀	K14	02	F2	32	CD	10	EF	
右	▶	K5	09	F2	32	CD	12	ED	
下	▼	K2	19	F2	32	CD	14	EB	
入力	Enter	K9	16	F1	32	CD	0F	F0	選択した項目を確定します。
ミュート	🔇	K15	01	F1	32	CD	52	AD	🔇 を押して、プロジェクターの内蔵スピーカーのオフ/オンを切り替えます。
ディスプレイモード	📺	K10	15	F1	32	CD	91	6E	📺 を押して、ディスプレイモードメニューを表示します。ディスプレイモードメニューを終了するには、もう一度 📺 を押します。
アプリメニュー	⋮	K6	08	F1	32	CD	25	DA	⋮ を押して、アプリメニューを開きます。
音量 -	-	K11	12	F2	32	CD	0C	F3	- を押して、音量を小さくします。
音量 +	+	K1	05	F2	32	CD	09	F6	+ を押して、音量を大きくします。

# 追加情報

## 故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。

### 画像の問題

- ❓ スクリーンに画像が写らない
  - すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
  - 各接続ピンが曲がっていたり、壊れていないかどうか、ご確認ください。
  - 「ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。
  
- ❓ 画像のピントが合っていない
  - 画像が鮮明になり、文字が読めるようになるまでフォーカシングを時計方向または反時計方向に回します。(17 ページを参照してください。)
  - 投影画面がプロジェクターから必要な距離の間に入っていることを確認してください。(73 ページを参照してください。)
  
- ❓ 16:9 DVDを再生表示しているとき、画像が伸びる
  - アナモフィックDVDまたは16:9 DVDを再生しているとき、プロジェクタはプロジェクタ側で16:9フォーマットで最高の画像を表示します。
  - 垂直ストレッチフォーマットのDVDタイトルを再生している場合、プロジェクタのOSDで垂直ストレッチとしてフォーマットを変更してください。
  - 4:3 フォーマット DVD タイトルを再生している場合、プロジェクター OSD で 4:3 としてフォーマットを変更してください。
  - お使いの DVD プレーヤーで、16:9 (ワイド) アスペクト比タイプとして表示フォーマットをセットアップしてください。
  
- ❓ 画像が大きすぎるか、小さすぎる
  - ズームレバーを時計回りまたは反時計回りに回して、投影される画像のサイズを拡大または縮小します。(17 ページを参照してください。)
  - プロジェクターを画面に近づけたり、遠ざけたりしてください。
  - プロジェクターパネルの [メニュー] を押して、[ディスプレイ → アスペクト比] に進みます。別の設定を試してみます。
  
- ❓ 画像が横に傾く:
  - 可能であれば、プロジェクターがスクリーンの中央下端に来るように配置し直してください。
  
- ❓ 画像が反転する
  - OSD から [設定 → 設置モード] を選択し、投射方向を調整します。

# 追加情報

## その他の問題

- ❓ プロジェクターがすべてのコントロールへの反応を停止します
- 可能であれば、プロジェクターの電源を切って電源コードを抜き、20 秒待ってから電源を接続し直してください。

## リモコンの問題

- ❓ リモコンが作動しない場合、次を確認してください
- リモコンの操作角度が、プロジェクターの IR レシーバーから水平方向に  $\pm 15^\circ$  以上、垂直方向に  $\pm 10^\circ$  以上ずれていないことを確認します。
  - リモコンとプロジェクターとの間に障害物がないことを確認する。プロジェクタから 12 m (39.4 フィート) 以内に移動する。
  - 電池が正しくセットされていることを確認する。
  - 古くなった電池は、新しいものと交換します。

# 追加情報

## 警告インジケータ

警告インジケータ (以下を参照) が点灯または点滅すると、プロジェクターは自動的にシャットダウンします:

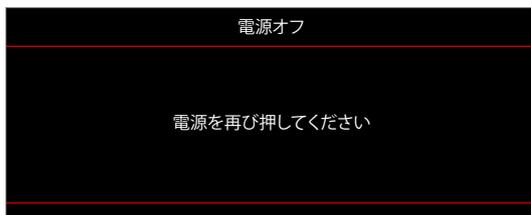
- [ランプ] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。
- [温度] LED インジケータが赤く点灯し、[電源] インジケータが赤色に点滅している場合。この状態は、プロジェクターが過熱していることを示しています。標準の条件下になると、プロジェクターのスイッチをオンにすることができます。
- [温度] LED インジケータが赤く点滅し、[電源] インジケータが赤く点滅している場合。

プロジェクターから電源コードを抜き、30秒後に再試行します。警告インジケータが点灯または点滅したら、最寄りのサービスセンターに連絡して対処法をお尋ねください。

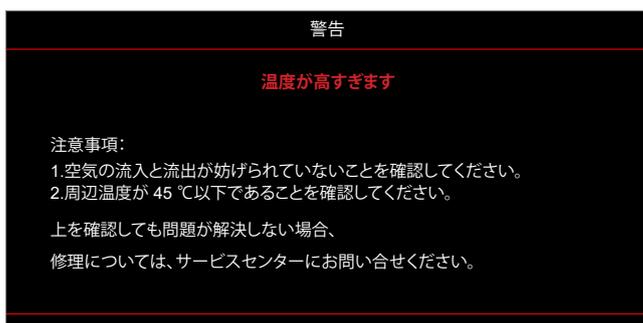
### LED 点灯メッセージ

メッセージ	電源 LED		温度 LED	ランプ LED
	(赤)	(青)	(赤)	(赤)
スタンバイ状態 (入力電源コード)	点灯			
電源オン (ウォーミング)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)		
電源オン/ランプ点灯		点灯		
電源オフ (冷却)		点滅 (0.5 秒オフ / 0.5 秒オン)。冷却ファンがオフになると、赤の点灯に戻ります。		
クイックレジューム (100 秒)		点滅 (0.25 秒オフ / 0.25 秒オン)		
エラー (ランプトラブル)	点滅			点灯
エラー (ファンが異常です)	点滅		点滅	
エラー (過熱)	点滅		点灯	

- **電源オフ:**



- **温度警告:**



# 追加情報

## 仕様

項目	説明
技術	Texas Instrument DMD、12 度 0.65 インチ/1080p DMD X1、S600 (パッキング タイピング)、Darkchip (DC) 3
パネル解像度	1920x1080
レンズ	<ul style="list-style-type: none"><li>スロー比: 1.4 ~ 2.24</li><li>F-停止: 2.5 ~ 3.26</li><li>焦点距離: 20.911 ~ 32.62mm</li><li>ズーム範囲: 1.6x</li></ul>
オフセット	100% ~ 116% ±5%
画像サイズ	20.2 インチ ~ 320.4 インチ (60 インチで最適)
投影距離	1m ~ 10m (1.87m で最適)
I/O	<ul style="list-style-type: none"><li>HDMI-1 V2.0 (HDCP2.2)</li><li>HDMI-2 V1.4 (HDCP1.4)</li><li>VGA 入力</li><li>VGA アウト</li><li>ビデオ</li><li>電源 USB 5V/1.5A 用 USB タイプ-A</li><li>Micro USB (サービス用)</li><li>オーディオ入力 3.5mm (x2)</li><li>オーディオ出力 3.5mm</li><li>マイク入力</li><li>12V 出力</li><li>3D 同期</li><li>RS232</li><li>RJ-45 (Web コントロールをサポート)</li><li>USB タイプ-A は RK3328 ファームウェア アップグレード (USB 2.0、5V/0.9A) をサポートします</li><li>USB タイプ-A はワイヤレス接続用の Wi-Fi ドングル (USB 3.0、5V/0.9A) をサポートします</li></ul>
色	10 億 7340 万色
スキャン速度	<ul style="list-style-type: none"><li>水平スキャン速度: 15.375 ~ 91.146 KHz</li><li>垂直スキャン速度: 50 ~ 85 Hz (3D 機能プロジェクターの場合は 120 Hz)</li></ul>
スピーカ	10W x2
消費電力	<ul style="list-style-type: none"><li>最小 (エコモード):<ul style="list-style-type: none"><li>220W (標準)、235W (最大) @ 110VAC</li><li>197W (標準)、227W (最大) @ 220VAC</li></ul></li><li>最大 (高輝度モード):<ul style="list-style-type: none"><li>230W (標準)、292W (最大) @ 110VAC</li><li>245W (標準)、282W (最大) @ 220VAC</li></ul></li></ul>
入力電流	3.2A
取り付け方向	フロント、リア、天井、リア - 上部
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	<ul style="list-style-type: none"><li>足を除く: 337 x 265 x 108 mm (13.27 x 10.43 x 4.25 インチ)</li><li>足を含む: 337 x 265 x 122.5 mm (13.27 x 10.43 x 4.82 インチ)</li></ul>
重さ	5.0 kg (11.02 ポンド) 未満
環境	0 ~ 40℃、10% ~ 85% 湿度 (結露なし) で動作

**注記:** 仕様はすべて予告なしで変更されることがあります。

# 追加情報

## Optoma 社グローバルオフィス

サービスやサポートにつきましては、現地オフィスにお問い合わせください。

### 米国

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

 888-289-6786  
 510-897-8601  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### カナダ

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

 888-289-6786  
 510-897-8601  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### 中南米及びメキシコ

47697 Westinghouse Drive,  
Fremont, CA 94539, USA  
www.optomausa.com

 888-289-6786  
 510-897-8601  
 [services@optoma.com](mailto:services@optoma.com)

### ヨーロッパ

Unit 1, Network 41, Bourne End Mills,  
Hemel Hempstead, Herts,  
HP1 2UJ, United Kingdom  
www.optoma.eu  
サービスダイヤル:  
+44 (0)1923 691865

 +44 (0) 1923 691 800  
 +44 (0) 1923 691 888  
 [service@tsc-europe.com](mailto:service@tsc-europe.com)

### Benelux BV

Randstad 22-123  
1316 BW Almere  
The Netherlands  
www.optoma.nl

 +31 (0) 36 820 0252  
 +31 (0) 36 548 9052

### フランス

Bâtiment E  
81-83 avenue Edouard Vaillant  
92100 Boulogne Billancourt, France

 +33 1 41 46 12 20  
 +33 1 41 46 94 35  
 [savoptoma@optoma.fr](mailto:savoptoma@optoma.fr)

### スペイン

C/ José Hierro,36 Of.1C  
28522 Rivas VaciaMadrid,  
スペイン

 +34 91 499 06 06  
 +34 91 670 08 32

### ドイツ

Am Nordpark 3  
41069 Mönchengladbach  
ドイツ

 +49 (0) 2161 68643 0  
 +49 (0) 2161 68643 99  
 [info@optoma.de](mailto:info@optoma.de)

### スキャンディナヴィア

Lerpeveien 25  
3040 Drammen  
ノルウェー

 +47 32 98 89 90  
 +47 32 98 89 99  
 [info@optoma.no](mailto:info@optoma.no)

PO.BOX 9515  
3038 Drammen  
ノルウェー

### 韓国

<https://www.optoma.com/kr/>

### 日本

<https://www.optoma.com/jp/>

### 台湾

<https://www.optoma.com/tw/>

### 中国

5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,  
Changning District  
Shanghai, 200052, China

 +86-21-62947376  
 +86-21-62947375  
[www.optoma.com.cn](http://www.optoma.com.cn)

### オーストラリア

<https://www.optoma.com/au/>

